

# 大学コンソーシアムあきた運営委員会

(平成21年度 第1回)

日時 平成21年4月20日(月)

午後3時～午後4時

場所 カレッジプラザ小講義室2

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 平成21年度第1回理事会提出議題について

<理事会審議事項>

- ・ 構成機関の新規加盟について 資料 1
- ・ 役員任期満了による新役員の選出について 資料 2
- ・ 平成20年度事業報告について 資料 3
- ・ 平成20年度収支決算報告について 資料 4
- ・ 平成20年度監査報告について 資料 5
- ・ 平成21年度事業計画案について 資料 6～7
- ・ 平成21年度収支予算案について 資料 8
- ・ 参考資料 資料 9～10

#### (2) 部会を活用した活動体制と評価・点検体制の構築について 資料 11 <理事会報告事項>

### 3 その他

### 4 閉 会

## 大学コンソーシアムあきた運営委員会委員名簿

機 関 名	役 職	氏 名	備考
秋田大学	理事(教育・社会貢献担当)・副学長	吉 岡 尚 文	
秋田県立大学	理事(教育担当)	森 宏 一	
国際教養大学	図書館長・教授	勝 又 美 智 雄	
ノースアジア大学	総合研究センター長	藤 本 剛	
秋田看護福祉大学	看護福祉学科長	柴 田 博	
日本赤十字秋田看護大学	看護学部長	尾 岸 恵 三 子	
秋田公立美術工芸短期大学	芸術文化デザイン学部長	渡 邊 有 一	
秋田栄養短期大学	短大部長・教授	鎌 田 幸 男	
聖霊女子短期大学	副 学 長	佐 藤 榮 悦	
日本赤十字秋田短期大学	看護学部長	尾 岸 恵 三 子	
聖園学園短期大学	学生課長・教授	安 藤 節 子	
秋田工業高等専門学校	副校長・教務主事・教授	対 馬 雅 己	
放送大学秋田学習センター	所 長	吉 崎 克 明	
秋田職業能力開発短期大学校	能力開発部長	鳥 潟 与 明	
秋田県学術国際部	学術国際政策課長	伊 藤 邦 夫	

大学コンソーシアムあきた事務局 (秋田大学社会貢献推進室)	事 務 局 長	藤 井 和 明	社会貢献推進室長
	次 長	三 浦 朝 子	社会貢献係長

## 平成21年度大学コンソーシアムあきた第1回運営委員会出席者名簿

機 関 名	役 職	氏 名	類	懇談会
秋田大学	理事(教育・社会貢献担当)・副学長	吉 岡 尚 文	○	出席
	教育推進主管・教授	小 川 信 明		出席
秋田県立大学	理事(教育担当)	森 宏 一	○	出席
国際教養大学	事務局次長	高 橋 訓 之		出席
ノースアジア大学	総合研究センター長	藤 本 剛	○	出席
秋田看護福祉大学		(欠 席)		
日本赤十字秋田看護大学	看護学部長	尾 岸 恵 三 子	○	出席
秋田公立美術工芸短期大学	課 長 楠 佐	森 合 政 則		
秋田栄養短期大学	短大部長・教授	鎌 田 幸 男	○	
聖霊女子短期大学	副 学 長	佐 藤 榮 悦	○	
日本赤十字秋田短期大学	(日本赤十字秋田看護学部長)	(尾 岸 恵 三 子)		
聖園学園短期大学	学生課長・教授	安 藤 節 子	○	
秋田工業高等専門学校	副校長・教務主事・教授	対 馬 雅 己	○	出席
放送大学秋田学習センター		(欠 席)		
秋田職業能力開発短期大学校		(欠 席)		
秋田県学術国際部学術国際政策課	課 長	伊 藤 邦 夫	○	出席
	政 策 監	深 井 智		出席
	主 幹	高 橋 邦 武		出席
	主 査	黒 澤 桂 一		出席
	主 事	武 田 さ や か		出席
大学コンソーシアムあきた事務局 (秋田大学社会貢献推進室)	事 務 局 長	藤 井 和 明		出席
	次 長	三 浦 朝 子		出席

## 大学コンソーシアムあきたへの加盟申請について

平成21年4月1日付けで、日本赤十字秋田看護大学（平成21年4月1日開学、森美智子学長）から別紙のとおり大学コンソーシアムあきたへの加盟申請が提出されています。

加盟については、大学コンソーシアムあきた規約により理事会において承認する必要があります。

## 大学コンソーシアムあきた構成(予定)機関一覧

(単位：円)

No.	構成(予定)機関名	平成20年度構成機関	平成21年度構成機関
1	秋田大学	○	○
2	秋田県立大学	○	○
3	国際教養大学	○	○
4	ノースアジア大学	○	○
5	秋田看護福祉大学	○	○
6	日本赤十字秋田看護大学		加盟申請機関
7	秋田公立美術工芸短期大学	○	○
8	秋田栄養短期大学	○	○
9	聖霊女子短期大学	○	○
10	日本赤十字秋田短期大学	○	○
11	聖園学園短期大学	○	○
12	秋田工業高等専門学校	○	○
13	放送大学秋田学習センター	○	○
14	秋田職業能力開発短期大学校	○	○



日赤秋看第20号

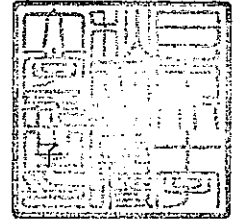
平成21年4月1日

大学コンソーシアムあきた

理事長 吉 村 昇 様

日本赤十字秋田看護大学

学 長 森 美 智



大学コンソーシアムあきたへの加盟について（申請）

平成21年4月1日に開学した日本赤十字秋田看護大学は、大学コンソーシアムあきたに加盟したいので申請します。

<連絡先>

日本赤十字秋田看護大学（事務局次長 富野）

電話018-829-3000

秋田市上北手猿田字苗代沢17-3

## 任期満了に伴う役員の選出について

## ■ 役員の種類（規約抜粋）

第7条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 理事長 1人 (2) 理事(理事長を含む)構成機関の数 (3) 監事 2人
- 2 理事は構成機関の長をもって充てる。
  - 3 理事長は、理事の互選により定める。
  - 4 監事は理事会において選任する。

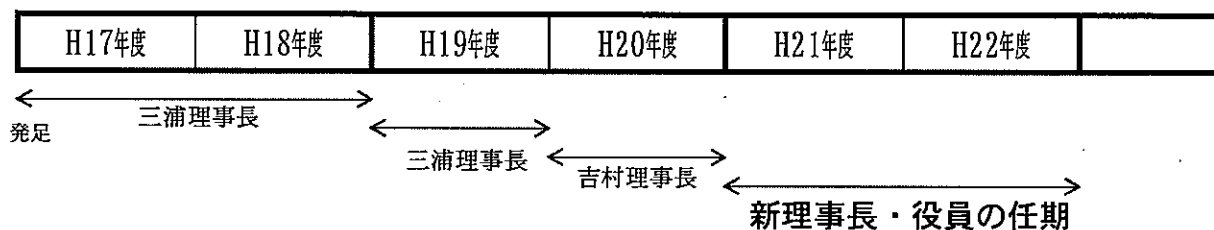
第9条 役員の任期は2年とする。ただし、補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、辞任した場合又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

## ■ 役員の任期

規約第9条により役員の任期は2年、現役員の任期は平成20年度末まで。

新役員の任期は平成21～22年度の2年間。



## ■ 選出の時期

- 理事 構成機関の長
- 理事長 理事の互選により選出（理事会：平成21年4月20日）
- 監事 理事会において選任（2名）

（役員外）

- 運営委員長 理事長が指名

大学コンソーシアムあきた監事（事務局案）

監事 竹 村 達 三 秋田県立大学理事（総務本部担当）

○  
監事 葛 西 孝 ノースアジア大学法人事務部シニアマネージャー  
（第三者評価・高等学校・財務担当）

○

# 大学コンソーシアムあきた平成20年度事業実績書

## ■ 会務の経過

月 日	会 議 等
<b>■19年度&lt;参考&gt;</b>	
20. 3. 4	運営委員会<来年度事業計画、事業報告、決算見込報告>
20. 3. 27	理事会<運営委員会検討状況報告、理事長の異動に係る取扱の確認>
<b>■20年度</b>	
20. 4. 16	監査<平成19年度事業内容の審査及び会計監査>
20. 4. 22	第1回理事会 ①理事長の異動に伴う理事長の選出 ②平成19年度事業報告及び決算報告の承認 ③平成20年度事業計画及び予算の決定
20. 5. 7	運営委員長との打ち合わせ ①各事業の進め方に関する協議 ②各部会長の指名及び付託事項の確認 ③大学主導による運営に関する意見交換 (競争的外部資金応募による運営委員会ワーキンググループ設置)
20. 5. 20	第1回運営委員会 ①戦略的大学連携支援事業への応募に係る協議 ②ワーキンググループの設置に係る協議
20. 7. 22	第2回運営委員会 ①戦略的大学連携支援事業への応募報告 ②高大連携授業の実施状況報告 ③連携公開講座の参画者及び構成状況 ④第5回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加
20. 8. 28	運営委員長、両各部会長打ち合わせ ①戦略的大学連携支援事業の実施組織・体制等に係る事前協議 ②戦略的大学連携支援事業の協定締結に係る事前協議
20. 9. 17	第3回運営委員会 ①戦略的大学連携支援事業の実施計画、共同実施に関する協定締結 ②あきた教育の日制定による協賛催事 ③受講者アンケート結果による高大連携合同意見交換会実施計画
20. 11. 6	秋田県内高校と大学・短大による連携のための合同意見交換会
20. 12. 25	平成21年度各事業予定における科目提供依頼<文書通知> ①高大連携授業(従来型・単位取得予約型(プロジェクト4A通知による)) ②連携公開講座 ③社会人講座 ④中大連携授業 ⑤サイエンスプラザ ⑥単位互換授業



大学コンソーシアムあきた 平成20年度会務の経過

月 日	会 議 等
21. 1. 18	運営委員長、両各部長打ち合わせ<メール協議> ①来年度事業計画(事業展開の方向)に関する協議 ②構成機関異動、大まかな事業構成 ③プロジェクト4Aの事業展開に伴う謝金の取扱い
21. 1. 20	第4回運営委員会 ①今年度収支決算見込みの説明 ②来年度事業計画(素案)・収支予算(素案)の協議 ※委員出席が2機関のため、資料送付による意見提出協議に切替
21. 3. 10	大学間連携推進事業等の状況視察来訪者(大分大学教職員) ①プロジェクト4A及び大学コンソーシアムあきたの活動内容 ②大学の連携、協力状況、地域社会への還元状況
21. 3. 13	第5回運営委員会 ①第5回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの報告 ②平成20年度事業進捗状況及び収支決算見込みの報告 ③平成21年度事業計画案及び収支予算案の協議 ④役員任期満了に伴う理事長選出の取り扱いの確認 ⑤平成21年度各委員の推薦依頼
21. 3. 30	第2回理事会 ①運営委員会における検討状況について ②理事長の異動に係る取扱について
-----	
■21年度<参考>	
21. 4. 13	監査<平成20年度事業内容の審査及び会計監査>
21. 4. 下旬	理事会 ①理事長の互選、監事の選出、運営委員長の指名 ②平成20年度事業報告及び決算報告の承認 ③平成21年度事業計画及び予算の決定

第5回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

テ ー マ : 「地域における学術・文化の創造と情報の発信を目指して  
 -産学官民の連携による大学コンソーシアムの形成-」  
 開催日時 : 平成20年12月13日(土)~14日(日)  
 会 場 : 名古屋大学(名古屋市)  
 参 加 者 : 全国各地域の大学コンソーシアム関係者(名簿配布なし)  
 参加者数 : 全体参加数 335名(講師含む)

第1分科会	100名	第4分科会	64名
第2分科会	120名	第5分科会	96名
第3分科会	62名	第6分科会	38名

出席者：大学コンソーシアムあきた

- 吉岡尚文 (運営委員長・秋田大学副学長)
- 森宏一 (教育研究部会長・秋田県立大学理事)
- 勝又美智雄 (地域貢献部会長・国際教養大学教授)
- 佐々木厚 (プロジェクト「4A」コーディネーター・秋田大学)
- 武田さやか (カレッジプラザ・スタッフ)

《12月13日(土)：1日目》

■基調講演「持続発展する豊かな地域作りを目指した産学官連携」

社団法人中部経済連合会会長 川口文夫氏

…中部経済連合会の中期活動指針を示しながら、中部地域における産学官連携の事例紹介と更なる産学官連携の推進の必要性について講演。…

■シンポジウム

- シンポジスト 文部科学省生涯学習政策局長 清水 潔 氏
- 株式会社中日新聞代表取締役会長 白井 文吾 氏
- (財)大学コンソーシアム京都副理事長  
／龍谷大学・短期大学部学長 若原 道昭 氏
- 中部経済連合会会長  
／中部電力株式会社代表取締役会長 川口 文夫 氏
- コーディネーター 愛知学長懇話会世話人(代表幹事)  
／名古屋大学総長 平野 眞一 氏

…シンポジストがそれぞれ講演を行い、会場からの質疑に应答する形式で進行。…

◇文部科学省生涯学習政策局長 清水氏「これからの高等教育政策について」

…高等教育を取り巻く現状と課題、これらを踏まえた今後の高等教育政策についてを講演。…

<ポイント>文部科学省の高等教育に対する方向性

- ①教育研究活動の推進と各大学の自主的な判断による多様化・機能分化を目指す
- ②これからは「学士力」を学生がきちんと身につけているかどうかが見られる

◇株式会社中日新聞代表取締役会長 白井氏「地域に生きる産学連携」

…「マスメディアから見た大学教育について」「地域づくりと産業界・大学などとの連携」の二つのテーマにもとづいて講演。在学中に一般教養と社会常識、そして考える力を学生に身につけさせて欲しいなどの要望が出された。…

◇(財)大学コンソーシアム京都副理事長 若原氏「財団法人大学コンソーシアム

京都の過去・現在・未来～設立からこれまでと第3ステージに向けて～」

…大学コンソーシアム京都の設立背景から今までの活動とその到達点を紹介し、今後の活動プランの方向性を紹介。…

## <ポイント>

### ① 設立の主旨が「大学のまち京都」「学生のまち京都」のブランド力構築。

大学が連携を行うことにより様々なメリットを学生・産業界・地域・行政に提供することにある。大学にとっては教育研究の質向上とその成果を地域に還元するというのがメリット。1998年に法人格を取得。45の大学・短期大学と京都市、経済4団体の50の団体が連携した今日の財団法人大学コンソーシアム京都となった。2009年には当財団の活動拠点である「大学のまち交流センター」が建設された。

### ② 現在の事業推進体制について

6つの事業部に分かれている。財団予算のうち、事業実施のための予算は約2億3000万円、職員は出向職員21名、嘱託職員12名、臨時職員7名の合計40名。

### ③ 財団の第3ステージと位置付け

2009年からは財団の第3ステージと位置付け、プランのキーワードを「質の向上」「選択と集中」「国際性・地域性」の3つとした。費用対効果も考慮し、事業の削減と重点化を大胆に行いリニューアルをする予定。各大学で行えることは各大学で行い、コンソーシアムだからこそ、という事業を前面に出すことにし、連携の強みを発揮できる事業、大学の枠を越えて参加できる事業、京都の魅力を創出し発信できる事業などに特化する。

例えば、学生の海外留学では通常は大学と海外の大学が協定を結び個別に送り出しと受け入れを行っている。これをコンソ対コンソの対面で協定をし、学生にとって更に海外留学がしやすく、今まで海外の大学と連携できていない大学の学生も留学が容易にできる環境を構築したい。

更に外部資金の積極的な獲得、国や行政の資金獲得に向けたプロジェクトや、国行政の情報を収集して積極的に活用を行うなど、従来にない総合的で包括的な取り組みを計画している。

### ④ 第3ステージのスローガン

第3ステージのスローガンは「世界に誇る『大学のまち』・『学生のまち』京都」。これまでの点と点の連携を面と面の連携に広げ、全国に先駆けた連携プログラムの開発や京都独自の新しい連携構築を目指す。そのためのフレームワークとして次の6点を考えている。

- a. 地域性を活かした大学間連携による教育の質の向上と様々な教育プログラムの展開
- b. 「大学のまち京都」をリードする学生の発掘
- c. 教育力向上のためのFD、SD事業の充実と地域ネットワークの推進
- d. 加盟大学と短期大学の個性、魅力を活かした規模別、分野別、地域別、等々のミニコンソーシアムの形成
- e. 京都全体のひとつのキャンパスと捉える「京都ワンキャンパス」の国内外への発信
- f. 「京都高等教育研究センター」での共同研究による京都の魅力の追求

## ◇中部経済連合会会長 川口氏（基調講演講師）

…産業界からの提言として学生が身につける専門度を高めて欲しいということと、若いときから生涯的な目標を持って欲しいと言うことを講演。…

## ■文部科学省からの情報提供について

### 「大学、短期大学等の連携への支援について」

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長 今泉 柔 剛 氏

…今後文部科学省が目指したい方向性と大学連携の重要性について（今後は全ての大学がどこかのコンソーシアムに関わっている形を目指す、などの発言があった）述べた後、新制度「共同学部・共同大学院」の説明及び平成21年度も引き続き行われる「戦略的大学連携支援事業」について説明があった。…

## <ポイント>

### ◎共同学部・共同研究科制度の概要

①国公立の設置者の枠を越え、複数の大学が集まり一つの共同教育課程を編成するという制度である。  
その教育課程を修了すれば、構成している複数大学連盟による学位が授与される。

### ②今後のスケジュール

平成21年3月1日施行。認可申請を受け付ける

平成21年 秋 申請の認可予定

平成22年4月 共同学科・学部の開設

### ③イメージ（抜粋）

- ・構成大学（2～4大学）は一つの大学が開設する授業科目を、その他の大学の教育課程の一部とみなして、同一内容の教育課程（共同教育課程）を編成
- ・共同教育課程のみを実施することは不可。構成大学はそれぞれ124単位の大学として教育研究をしていることが前提条件
- ・学生は各構成大学が開設した授業科目の単位をそれぞれ一定数以上取得
- ・共同学科等の課程を修了した者には構成大学による連盟の学位を授与
- ・国内大学のみを対象、国外大学との共同設置は考えていない
- ・大学と短期大学などのように異なる学校種間での共同開設は考えていない（同一学校種間の共同）

### ◎戦略的大学連携支援事業の概要

平成20年度から開始した事業だが、引き続き21年度も行っていく。基本的には20年度と同じ内容だが、予算要求としては20年度より50億円増の80億円で計上している支援件数も新規採択70件を含む110件（20年度は54件・344大学が採用された）に増加していく計画である。21年度の概算要求のポイントとして連携による教育の質保証強化への取り組みを重点支援する。

## ■全国大学コンソーシアム協議会運営委員会報告

…全国大学コンソーシアム協議会事務局より、昨年度の第4回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの収支、同協議会運営委員会の開催、同協議会への新規加盟の報告、また、来年度の研究交流フォーラムについての案内があった。…

①2007年9月以降の新規加盟については「相模原・町田大学地域コンソーシアム」、「大学コンソーシアムやまなし」が加盟承認済み、退会については「ひょうご大学連携事業推進機構（発展解消）」が退会承認済み。運営委員の辞任・承認については大学コンソーシアムやまがたの中村三春氏が辞任、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアムの難波美都利氏、キャンパスコンソーシアム函館の横殿肇氏が就任。

②来年度の第6回フォーラムは函館市で9月12日（土）～13日（日）の開催予定。

## ■第3分科会「教員免許状更新講習の円滑な実施に向けて ～現状と課題～」

…平成21年度からスタートする教員免許状更新講習のモデル的プログラムの開発や試行を実施した事例の発表と文部科学省より試行の現状と本試行についての説明が行われた。…

### ◎報告1 大学コンソーシアム長崎 「多くの離島を抱えた県における教員免許更新講習」

- ・長崎県は南北に広く、また、離島を多く抱える県である。特に離島の教員が更新講習を受ける際には受講負担が大きい。そこで、大学コンソーシアム長崎の事業（単位互換事業）とその経験を基礎に新たなシステムを構築し教員免許更新講習を実施した。

### ◎報告2 大阪教育大学 「大阪教育大学における教員免許更新講習の実施」

- ・大阪教育大学での教員免許更新講習の実施活動の紹介

### ◎報告3 社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 「ネットワーク多摩及び加盟機関の事例」

- ・教員免許更新講習のテーマを定め、テーマ毎にネットワーク多摩加盟大学の教授陣が担当した。テーマの元に各大学がテーマに沿った講座を出し合う形。対象の小学校・中学校・高等学校教員が学校の種別に関わらず混ざり合う形で行った。
- ・八王子セミナーハウスの講習の紹介。短期集中合宿形式の講習紹介。
- ・桜美林大学の講習紹介。eラーニングによるオンデマンド講習

《12月14日(日):2日目》

### ■第6分科会「コンソーシアムの組織運営について」

…組織の概要、事業、日常的な運営方法、現状の課題等が2つのコンソーシアムから発表された。コーディネーターと討論者からこの報告を例示として全国のコンソーシアムが抱える問題が提示され、これに対して発表者、討論者、会場から意見が出された。…

○報告団体 ①特定非営利法人・大学コンソーシアムやまなし

②大学コンソーシアムひょうご神戸

○討論者 南大阪地域大学コンソーシアムコーディネーター 難波美都里 氏

○コーディネーター 教育ネットワーク中国代表幹事 広島修道大学教授 市川太一 氏

### ◎報告1 特定非営利法人・大学コンソーシアムやまなし

『特定非営利法人・大学コンソーシアムやまなし』設立の経緯と現状の課題」

…内閣府、文部科学省の受託事業をうまく受けて事業を展開している様子。事務局内に、県・コンソーシアム・構成機関(大学、短大)を取り持つコーディネーター1名がいる。…

- ・山梨県内の12大学、短期大学を会員に2年前に特定非営利法人として設立。それぞれの大学の学部内容は重ならない。事業の種類は9つ。①情報交換・交流・発信事業、②調査等受託事業、③単位互換事業、④生涯学習事業、⑤高大連携事業、⑥インターンシップ事業、⑦学生交流事業⑧留学生支援事業、⑨図書館連携事業

・平成20年度の単位互換事業ではコーディネート科目2科目を含む129科目が提出され、64名が履修している。この単位互換事業を利用し、平成18年度には内閣府都市再生本部の「全国都市再生モデル調査」に応募。平成19年度には「単位互換による学生の大学間移動を起点としたまちづくり事業化方策検討」調査が実施された。

・学生の大学間移動に伴い公共交通機関の乗り換えや待合いのための学生が集まる場ができ、それを調査することにより、公共交通機関のあり方や中心市街地における新たなまちづくり事業化について検討を行うことなどが目的。

・高大連携事業は大学入試センターと共催して、対象を山梨県内高等学校の進路指導担当者とする大学ガイダンスセミナー、山梨県内の高校生と保護者を対象とする大学ガイダンスセミナーを開催している。高大連携授業は実施していない。

・コンソーシアム内の5大学が連携して「地域アカデミー」講座を開設している。

### ◎報告2 大学コンソーシアムひょうご神戸 「発足から2年6ヶ月」

…加盟団体は35法人、34大学・10短期大学。7つの委員会を設け、各校が各委員会に入っている。各委員会の委員校長が主体になって委員会を運営。拠点となる場所がなく、事務所をどこで構えるのが問題。スタッフ3人がいるが、専任ではない。…

◎2つの報告を通して浮かび上がった問題点とそれに対する意見

① 財政面について(自治体、産業との連携の難しさ)

(問題点) 主な収入源は構成機関の年会費や県の補助金だが、県の補助金が打ち切られるところが多く、財政面が脆弱。

(意見1) 「受託事業に取り組む」

討論者の難波美都里氏が南大阪地域大学コンソーシアムの取り組みを紹介。

設立当初にあった堺市からの補助金がなくなり設立基金300万円のみになった。

事業を展開すると必要な人手を確保することができない。そこで、大学の研究者を資源と捉え、各大学の研究者が地域の課題、例えば「環境」「子育て」など、に対して何ができるか企画書をコンソーシアムで考え、行政側や地域に提示。これを元に受託事業を獲得している。現在では行政のよろず相談所的な立場に。こうした事業展開でキーパーソンになるのがコーディネーター。各大学の研究者を熟知し企画の提案を行っている。

(意見2) 「大学の設立で地域に若者が」

大学が設立されたことで若者が地域に入り活性化された。また、コンソ自体も地域の活性化を考えた事業を展開している。行政・企業が補助金や協賛費を出すのは当然では？

② 大学コンソーシアムの知名度の低さ

(問題点) 地域社会(県民、事業者等)が大学コンソーシアムの存在やその活動内容などを十分に知らない。

③ 事務局体制が脆弱、活動拠点が無い

(問題点) 事務局体制が脆弱。各事業の実施においてスタッフの不足などからきめ細やかな対応が困難。また、事業の企画立案から実施までにおける各構成機関と事務局の役割分担が不明確。

④ 学内の問題、コンソーシアム構成組織間の問題

(問題点) 構成機関である大学の教職員、学生にも大学コンソーシアムの存在やその活動内容などが十分に知られていない。大学間の事業参加への温度差もある。競合する大学が連携している場合も多く、学内でコンソーシアムの活動に賛同が得られにくい。

(意見1) コンソーシアムの名前のみが前面に出て、自大学の名前が出にくくなると大学からの反発は大きい。各大学の名前が出るように広報等で工夫をしている。

(意見2) 事業によって連携する・しないを行うことにより、問題が解決するのではないか。

(意見3) 学内の知名度の低さをカバーするためには、各大学で教員がコンソを通じて学外で貢献活動を行った場合に、インセンティブを与えることが有効だと思う。

<参考>

第6回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

<平成21年9月12～13日・函館市>

大学コンソーシアムあきたが発表する分科会は以下のとおり

◆地域連携・社会貢献分科会(コーディネーター:日本福祉大学総長・学長室、愛知学長懇話会 刈田勇生氏)

仮題「あきたの社会人向け講座運営の工夫」

◆コンソーシアムの組織運営分科会(コーディネーター:広島修道大学法学部教授 市川太一氏)

仮題「あきたの組織運営と今後の展開方向」

## ■ 単位互換授業

### 秋田県における大学、短期大学及び高等専門学校間の 単位互換に関する協定及び授業の運営状況

#### 1 協定参加機関

No.	機関名	協定期間		
		H14. 3. 27～ (4年制3大学で実施)	H15. 10. 9～ H19. 3. 31	H19. 4. 1～ H22. 3. 31
1	秋田大学	参加	参加	参加
2	秋田県立大学 (県大短大部含む)	参加	参加	参加
3	国際教養大学			参加
4	ノースアジア大学 (旧秋田経法大)	参加	参加	参加
5	秋田看護福祉大学			参加
6	秋田公立美術工芸短期大学		参加	参加
7	秋田栄養短期大学		参加	参加
8	聖霊女子短期大学		参加	参加
9	日本赤十字秋田短期大学		参加	参加
10	聖園学園短期大学		参加	参加
11	秋田工業高等専門学校		参加	参加
12	放送大学秋田学習センター			
13	秋田職業能力開発短期大学校			
	計	3	9 (1)	11

#### 2 科目提供の状況

No.	機関名	年度							
		17年度		18年度		19年度		20年度	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	秋田大学	63	61	86	50	68	56	66	58
2	秋田県立大学(体社C)	105	84	110	105	122	110	118	115
3	秋田県立大学(秋田C)	67	50	70	60	75	71	205	77
4	国際教養大学					73	89	61	49
5	ノースアジア大学*	78	23	44	46	44	40	40	27
6	秋田看護福祉大学						4		10
7	秋田県立大学短大部	22	11	8	3				
8	公立美術工芸短大	7	8	7	8	6	8	6	12
9	秋田栄養短期大学	30	17	4	1	4	5	6	2
10	聖霊女子短期大学	11	6	5	6	5	6	5	5
11	日本赤十字秋田短大	3	3	5	4	6	4	6	2
12	聖園学園短期大学								
13	秋田工業等専門学校	12	4	10	3	4	6	4	5
	計	398	267	349	286	407	399	517	362
	うちカレッジプラザ開講	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)

\*17年度～18年度前後期は秋田経済法科大学の提供科目数

### 3 履修登録者の状況

年度・期	実人員	科目延べ人数	科目数	協定
平成20年度・後期	9	21	13	19.4.1~ 11大学等
〃 前期	10	10	4	
平成19年度・後期	8	13	7	
〃 前期	5	8	7	
平成18年度・後期	8	9	4	H15.10.9~ 10大学等
〃 前期	7	7	3	
平成17年度・後期	13	13	10	
〃 前期	14	15	7	
平成16年度・後期	16	36	24	
〃 前期	6	10	10	
平成15年度・後期	1	2	2	H14.3.27~ 3大学
〃 前期	4	6	6	
平成14年度・後期	2	2	2	

### 4 最近の履修科目の状況

平成20年度 履修登録者内訳

<前期>

秋田大学 → 県立大学 4人 動物遺伝資源管理学  
 ノアジリア大学 → 栄養短大 1人 ホスピタリティ入門Ⅰ  
 聖霊短大 → 秋田大学 4人 社会と家族A  
 聖霊短大 → 秋田大学 1人 教育学ⅠA

のべ 10人4科目 (実人員10人)

<後期>

教養大 → 公立美短 1人 デザイン計画概論  
 ノアジリア大学 → 栄養短大 1人 ホスピタリティ入門Ⅱ  
 聖霊短大 → 秋田大学 1人 法律を考えるB  
 聖霊短大 → 秋田大学 1人 日本国憲法A  
 聖霊短大 → 秋田大学 2人 障害と共生ⅠB  
 聖霊短大 → 秋田大学 1人 人権と共生ⅡB  
 聖霊短大 → 秋田大学 2人 社会と地域B  
 聖霊短大 → 秋田大学 2人 秋田の自然と文化ⅡB  
 聖霊短大 → 秋田大学 1人 哲学の世界Ⅳ  
 聖霊短大 → 秋田大学 2人 大学生活と学習ⅠB  
 聖霊短大 → 秋田大学 2人 医学と健康ⅡB  
 聖霊短大 → ノアジリア大学 3人 刑法の基礎  
 聖霊短大 → 公立美短 1人 デザイン計画概論  
 聖霊短大 → 公立美短 1人 プロダクトデザイン概論

のべ21人13科目 (実人員9人)



平成19年度 履修登録者内訳

<前期>

聖霊短大	→	秋田大学	1人	国際社会を考える
聖霊短大	→	秋田大学	1人	生活者の科学ⅠA
聖霊短大	→	秋田大学	2人	天体観測入門
聖霊短大	→	秋田大学	1人	地球の環境と資源ⅣA
聖霊短大	→	秋田大学	1人	芸術と文化Ⅰ
聖霊短大	→	公立美短	1人	東洋工芸史
聖霊短大	→	公立美短	1人	西洋美術史

のべ8人 7科目 (実人員5人)

<後期>

県立大学	→	秋田大学	1人	地球の環境と資源ⅠB
県立大学	→	秋田大学	1人	地球の環境と資源Ⅲ
聖霊短大	→	秋田大学	1人	地球の環境と資源Ⅳb
聖霊短大	→	県立大学	1人	水文学
聖霊短大	→	ノースアジア大学	5人	商品と流通
聖霊短大	→	ノースアジア大学	3人	日本の観光地理
聖霊短大	→	ノースアジア大学	1人	地理学の基礎

のべ13人 7科目 (実人員8人)

平成18年度 履修登録者内訳

<前期>

県立大学	→	秋田大学	1人	日本国憲法B
聖霊短大	→	秋田大学	1人	心理学Ⅰ
秋田大学	→	県立大学	3人	動物遺伝資源管理学 <b>集中講義</b>
経法大学	→	県立大学	1人	"
聖霊短大	→	県立大学	1人	"

のべ7人 3科目 (実人員7人)

<後期>

聖霊短大	→	秋田大学	3人	法律を考えるB
聖霊短大	→	秋田大学	1人	日本国憲法A
聖霊短大	→	秋田大学	2人	心理学Ⅱ
聖霊短大	→	秋田大学	3人	障害と共生ⅠB

のべ9人 4科目 (実人員8人)

平成17年度 履修登録者内訳

<前期>

秋田大学	→	県立大学	1人	醸造プロセス工学
秋田大学	→	県立短大	1人	動物行動学 <b>集中講義</b>
秋田大学	→	経法大学	2人	保険法、親族相続法
聖霊短大	→	秋田大学	4人	芸術鑑賞論
県立短大	→	経法大学	1人	現代経済事情～就職活動の経済常識～
県立大学	→	秋田大学	5人	食生活の科学(秋田の食) <b>集中講義</b>
県立短大	→	秋田大学	1人	食生活の科学(秋田の食) <b>集中講義</b>

のべ15人 7科目 (実人員14人)

<後期>

県立大学	→県立短大	1人	野生動物論
栄養短大	→秋田大学	1人	社会と家族B、
栄養短大	→秋田大学	1人	現代日本人に見られる生活習慣病B
栄養短大	→秋田大学	1人	現代の感染症B
栄養短大	→秋田大学	1人	栄養の分子生物学B
聖霊短大	→秋田大学	2人	心理学II
聖霊短大	→秋田大学	3人	文化の中の音楽II
聖霊短大	→秋田大学	1人	生命の連続性
聖霊短大	→秋田大学	1人	動物たちの生殖戦略B
聖霊短大	→秋田大学	1人	心身障害学概説

のべ13人10科目(実人員13人)

5 カレッジプラザの開講科目(コーディネート科目)

○平成20年度実績

No.	科目名・提供大学等	開講時期、受講者数等
1	動物遺伝資源管理学 県立大 生物資源科学部 (担当: 稲元民夫教授)	集中講義 20. 6. 7~20. 7. 19の各土曜日 全14コマ 学生23名(県立大学生)、他大学生4名 外部講師招聘 大学コンソーシアムあきた聴講生3名

○平成19年度実績

No.	科目名・提供大学等	開講時期、受講者数等
1	動物遺伝資源管理学 県立大 生物資源科学部 (担当: 稲元民夫教授)	集中講義 19. 6. 3~19. 7. 15の各日曜日 全14コマ 学生31名(県立大学生) 外部講師招聘 大学コンソーシアムあきた聴講生3名

○平成18年度実績

No.	科目名・提供大学等	開講時期、受講者数等
1	動物遺伝資源管理学 県立大 生物資源科学部 (担当: 稲元民夫教授)	集中講義 18. 8. 6~18. 8. 9の連続4日間 全15コマ 学生24名(県立大学生、うち大学院生2名) 外部講師招聘 特別聴講学生5名(秋田大3名、経法大1名、聖霊1名)

○平成17年度実績

No.	科目名・提供大学等	開講時期、受講者数等
1	現代経済事情 ~就職活動の経済常識~ 秋田経法大 経済学部 (担当: 白川欽哉助教授)	前期土曜(2コマ) 13:00~14:30、14:40~16:10 全8回・2単位 5月/14、21、28、6月/4、11、18、25、7月/2日 学生10人、教員8名が担当
2	食生活の科学(秋田の食) 秋田大学 教育文化学部 (担当: 長沼誠子教授)	集中講義(8月6~9日) 15コマ 特別聴講学生6人 大学コンソーシアムあきた聴講生5人

## ■ 職員研修事業

### 大学コンソーシアムあきた職員研修事業 秋田県内高校と大学・短大による連携のための合同意見交換会（概要）

#### 1 目的

高校と大学・短大等による連携が進んでいる状況を踏まえ、大学コンソーシアムあきた高大連携授業をはじめとする相互の連携の一層の活性化を図るため、高校・大学の関係者が一堂に会し協議等を行う場を設けた。会議には、秋田県教育委員会、各公私立高校、秋田県学術国際部及び大学コンソーシアムあきたからそれぞれ参加し、意見交換を行った。

#### 2 開催日時等

- (1) 日時 平成20年11月6日（木）13:30～15:00
- (2) 会場 カレッジプラザ
- (3) 出席者 別紙参加者名簿のとおり
- (4) その他 会議に先立ち、事前に高校及び大学等に高大連携授業に関するアンケート調査を実施した（4頁以降に集計結果）。

#### 3 意見交換会の概要

会議においては、高校と特定大学との間で取り組まれている高大連携授業、秋田県教育委員会が主催するアカデミックトライアル授業、大学コンソーシアムあきたの高大連携授業などのこれまでの取り組みを振り返り、また、今年度から開講している秋田県教育委員会主催の「高校生パワーアップ推進事業『土曜講座』」など高校生を取り巻く状況を整理しながら、相互の情報交換や意見交換が行われた。

また、平成20年度戦略的大学連携支援事業に採択された「プロジェクト『4A』－連携による知のベース構築と『秋田戦略学』の展開－」の中で、高大連携授業などの連携授業も掲げているため、「プロジェクト『4A』」の事業説明を行い高校側の協力を求めた。

#### ■「プロジェクト4A－連携による知のベース構築と『秋田戦略学』の展開－」について

- 「秋田の中等教育を支援する」：活動内容の5つの柱のひとつとして高校生・中学生向け授業の開講等の中等教育・高等教育連携を掲げる
- ・今までの高大連携授業スタイルを改変。回数を7回へと増やし、成績評価を行うことで県内大学（プロジェクト4A参画校）に入学時に単位として認める方向で計画を進めている。（既存の高大連携授業＝回数5回。成績評価を行わず、過半数の授業に出席した場合、修了証書を渡す。）
  - ・プロジェクト4Aの参加機関8大学にe-learningシステムの導入と使用環境の整備を推進。e-learningを通して、高大連携授業を行うことも考えている。

#### ■意見交換会のポイントは次のとおり。

##### ○高大連携授業の単位認定について

- ・プロジェクト4Aでは単位取得予約型の高大連携授業の開催を想定している。
- ・現在のシステムでの高大連携授業の単位認定には、遠隔地から参加の生徒達と中央部から参加の生徒達の間で不公平感が生じる。
- ・単位認定を行うことで大学入学への動機付けになるのか疑問。

#### ○高校生がより参加しやすい環境の整備

##### (高校側意見)

- ・高校生側からみると高校生向け大学関係事業がそれぞれの機関から提供されている。日程的に重なることも多く、お互いに生徒を取り合っているのではないか。
- ・県北・県南の会場は大学に限らず交通の利便性を考え、会場に高校を設定することも考えて欲しい。
- ・高大連携授業の内容や開催日程など高校からの要望を聞いてもらえるのだろうか。

##### (大学側意見)

- ・出前講座・土曜講座・高大連携授業の情報の共有を行い、教育庁の土曜講座については、日程調整を行っていきたい。
- ・県北・県南地区で開催する高大連携授業には、各地域の高校間で連携を取っていただき、より多くの生徒の参加を促すようなシステムがあれば、と考える。
- ・高校側の講義テーマに関する意見など今まで、出てきていない。ぜひ、高校から要望や意見を出して欲しい。

#### ○高校生への情報提供方法について

- ・今までは、高校進路指導室を通じて広報資料を教員から生徒に提供している。今後、教員の負担感の軽減や高校生のより自主的な参加を目的に、ホームページのモバイル版を作成し、生徒が携帯電話から直接大学コンソーシアムあきたに申込ができるようなシステムを来年度より導入する計画。
- ・一方で教員から参加を促してもらうことで、参加生徒数が増加する。

#### 4 コンソーシアムにおける今後の検討事項

上記の意見交換を踏まえ、高大連携授業に関する今後の検討事項を次に整理する。

##### (1) 高校側ニーズの把握

- ・高校側の要望が見えにくい。大学コンソーシアムから高校側の意見吸い上げを行うシステムの整備。

##### (2) 情報提供方法・内容の精査

- ・各大学主催・教育庁主催の高校生対象事業と大学コンソーシアムあきた高大連携授業の情報提供の状況について、現状では各機関が高校生対象に事業展開、また、情報提供も各機関がそれぞれ行っている。
- ・教育庁・各大学と情報を交換し日程調整を行った上で、高校側に情報提供をする必要がある。

##### (3) 県北・県南開催のさらなる推進

- ・交通機関等の利便性を考え、会場の設定を大学に限らず高校を会場にするなど柔軟な対応が必要。
- ・遠隔地におけるe-learningシステム適用の可能性を探る。

## (別紙) 参加者名簿

## 秋田県内高校と大学・短大による連携のための合同意見交換会出席者一覧

No.	機 関 名	職 名	氏 名	備考
1	秋田県教育庁高校教育課	副 主 幹	澤井 康孝	
2	秋田県立鷹巣農林高等学校	教 諭	市川 和春	
3	秋田県立能代高等学校	教 諭	藤原 孝一	
4	秋田県立男鹿工業高等学校	教 諭	佐藤 貞夫	
5	秋田県立金足農業高等学校	教 諭	萩庭 敦	
6	秋田県立秋田南高等学校	教 諭	渡部 公雄	
7	秋田県立秋田新屋高等学校	教 諭	佐藤 高	
8	秋田県立本荘高等学校	教 諭	柘植 敏朗	
9	秋田県立由利工業高等学校	教 諭	渡邊 鉦治	
10	秋田県立西目高等学校	教 諭	村上 政基	
11	秋田大学	教育推進主管・教授	小川 信明	
12	秋田大学	准 教 授	細川 和仁	
13	秋田大学	特任教授	佐々木 厚	
14	秋田大学	課長補佐	佐藤 幸男	学務部教務課
15	秋田大学	教務企画係	池田 正義	学務部教務課
16	秋田県立大学	理事(教育担当)	森 宏一	
17	秋田県立大学	スタッフ	齋藤 知論	教務・学生課
18	国際教養大学	准 教 授	山本 尚史	
19	国際教養大学	参事兼教務課長	加藤 泰久	
20	ノースアジア大学	教養部長・教授	福山 裕	
21	秋田看護福祉大学	看護福祉学部長	三田 禮造	
22	秋田公立美術工芸短期大学	教授・大学開放センター所長	平野庫太郎	
23	秋田公立美術工芸短期大学	准教授・教務委員長	長沢 桂一	
24	秋田公立美術工芸短期大学	主 事	石井 中	学生課
25	秋田栄養短期大学	短大部長	佐藤 実	
26	聖霊女子短期大学	教務部長・教授	横溝 眞理	
27	日本赤十字秋田短期大学	介護福祉学科長	村上 照子	
28	日本赤十字秋田短期大学	学務課長	佐藤 昌宏	
29	聖園学園短期大学	准 教 授	小笠原京子	
30	秋田工業高等専門学校	准 教 授	恒松 良純	
31	放送大学秋田学習センター	所 長	澤田 雅	
32	秋田職業能力開発短期大学校	助 教 授	田山 英臣	
33	秋田県学術国際部学術国際政策課	政 策 監	深井 智	
34	カレッジプラザ	副 主 幹	藤井 和明	学術国際政策課
35	カレッジプラザ	主 事	武田さやか	学術国際政策課

**県内各公私立高等学校に対するアンケートとその結果**

**高大連携合同意見交換会〈高校用〉事前アンケート集計結果**

〈アンケート対象校〉

- ・対象校 県内高校60校（県北地区18校、県央地区23校、県南地区19校） ※定時制含む
- ・回答数 県内高校52校（県北地区14校、県央地区20校、県南地区18校）

Q 1 貴校では、高大連携授業を生徒に積極的に活用してほしいと考えていますか？

（○は1つ）

		回答数	構成比
1	そう考える	31	61.0%
2	ややそう考える	13	25.0%
3	どちらとも言えない	6	11.0%
4	あまりそう考えない	2	3.0%
5	そう考えない	0	0%
6	無回答	0	0%

Q 2 貴校では、高大連携授業をよりよい仕組みとするために、どのような取り組みが有効だと考えますか？

（○はいくつでも）

		回答数	構成比
1	受講実績について高校で単位認定を行う	15	17.8%
2	受講実績について大学で単位認定を行う	7	8.3%
3	受講実績を開講大学の推薦・AO入試で評価に加味する	27	32.1%
4	県北・県南各地域での開講科目数を増やす	30	35.8%
5	その他	5	6.0%
6	無回答	0	0%

その他…

- ・夏、冬、春休みなどの長期休みに集中して開講する。
- ・平日の開講をやめて、土曜日のみとする。
- ・県北、県南とともに由利本荘地域でもお願いしたい。
- ・出張講座なども併せて実施したらどうか。
- ・県内高校と総合教育センターをむすぶLANを用いて、実況ないしオンデマンドで授業を配信するなど、インターネットの活用はどうか。

Q 3 今年度の高大連携授業は、前年度に比べ開始時期を1ヵ月遅らせる、1回のみを受講も認める、といった変更点がありましたが、学校での指導等にメリットはありましたか？

#### ■県北地区14校から寄せられた意見

(メリットがあった…3校、メリットは特になかった…7校、無回答…4校)

- No.1 とても有り難かった。参加しやすい。
- No.2 学びの機会が増えた点において、1回のみ受講が認められたことは指導上のメリットであった。
- No.3 受講しやすくなった。
- No.4 特に感じませんでした。県北地区開催の講座が少なかったためだと思います。
- No.5 1か月遅れは特に無し。1回のみは、遠い所から通う場合メリットはありました。
- No.6 本校では大学進学者が少なく、また近くに大学がないので特に変化はありません。
- No.7 地域的に交通の便が悪く、あまりメリットはなかった。(秋田市にも、大館市にも、1時間以上かかるため)

#### ■県央地区20校から寄せられた意見

(メリットがあった…11校、メリットは特になかった…9校)

- No.8 生徒に周知させるうえでよかったと思う。
- No.9 今回の変更点は、申し込みしやすい条件になっていると思う。
- No.10 以前より受講しやすくなった。
- No.11 学校行事と重なった場合、欠席しなければならない時もあるので、1回のみ受講は良かったのではないかな。
- No.12 募集等に余裕をもって行うことができたため、受講者も増え、よかった。
- No.13 部活動や秋田まで電車で行くことを考慮すると、本荘高校の生徒にとって受講しやすい方向に進んだと思います。
- No.14 開始時期が遅くなったため、生徒への周知・募集期間にゆとりがあって助かった。
- No.15 生徒の進路をある程度把握した上で、授業を生徒に薦めることができた。
- No.16 残念ながら、今年度の受講者がゼロであったが、遠距離にあるため、1回のみ受講が可であることは受講しやすいと思う。
- No.17 出席しやすいよう条件整備をいただいたことで、生徒に対して進めやすくなりました。
- No.18 特にメリットもデメリットもなかったと思うが、事務処理上は、メリットはあったのではないだろうか。

#### ■県南地区18校から寄せられた意見

(メリットがあった…5校、メリットは特になかった…12校、無回答…1校)

- No.19 開始時期が変更になったことで生徒が参加しやすくなった。
- No.20 1日で集中講義を完結させることで生徒は参加しやすくなったようです。1日完結の講義を増やすと、受講者は増えると思います。
- No.21 生徒に勧めやすくなった。
- No.22 1回のみ受講可ということで多くの生徒が受講可能になったと思われるので、メリットはあったと感じる。
- No.23 距離的な問題が大きく、今回の変更点についてはメリットはなかったと思います。
- No.24 本校では特に反応が目立ったものはなく残念でした。
- No.25 受講者がいなくて残念でした。従って、特にメリットはありませんでした。

- No.26 参加者がいなかったなので、メリットはなかった。
- No.27 参加者がおらず残念に思う。
- No.28 メリットはありません。開始時期や1回の受講を認めるより、場所が問題である。
- No.29 メリット、デメリット共に特にありません。

Q 4 高大連携授業や、県内の大学・短大等との連携についてご意見・ご要望をお寄せください

■県北地区14校から寄せられた意見

- No.30 募集に関して、進路指導主事が取りまとめるやり方をやめてほしい。最近は特に校務が多忙で、年2回の募集業務は負担である。募集のためのパンフレット等は配布してもよいが、生徒が個人で申し込む形にぜひとも改めてほしい。
- No.31 地区的に生徒が開講大学へ通うことが難しい。
- No.32 鹿角から大館までの交通費も苦しく、参加できなかつた例がありました。
- No.33 交通の関係上、平日の授業終了後に秋田市まで行くのは負担も大きく時間もかかる。遅刻してしまう場合もある。県北、県南地区での開講の機会が増えてほしい。
- No.34 特に1年生に受講させたい。進路決定の参考にさせたい。
- No.35 以前、受講者が少なく実施できなかつた事があつたので、対策を考慮して欲しい。距離的に、秋田市での実施には参加者が出ない状況にある。
- No.36 学校としても、様々なお願いをしておりますが、快くお引き受けいただき感謝しております。今後とも、連携を深めていただければと思います。
- No.37 能代からは、平日の授業には、時間に間にあわず、参加できません。なるべく、秋田市での授業は土曜日に行っていただければありがたいと存じます。

■県央地区20校から寄せられた意見

- No.38 例年県内各大学・短大さんには御協力いただいております。今後もこれまで以上に連携を強めていければと思っております。
- No.39 今後も継続して開催して欲しい。
- No.40 大学の出前講座など増えているが、希望が少ない分野では利用して受講させたい。
- No.41 工業高校の性格上、ものづくりや科学的な内容に生徒は興味を持っていた。
- No.42 知的好奇心の高い生徒や当該の大学（短大）に進学を予定している生徒にとっては有益な事業だと思う。
- No.43 今現在実施されている内容で十分だと思います。
- No.44 オープンキャンパスの案内や出前授業などを積極的に実施していただけるようになり、大学が身近なものになってきました。大変ありがたいと思っております。
- No.45 10月4日（土）の特別企画（20年度後期）は好評であった。
- No.46 申込まで高校で行って、以降はコンソーシアムさんの方で様々な連絡等をしていただいて、高校の負担を減らしていただいているのを助かるが、現在の形のままで真の連携と言えるのか疑問である。
- No.47 6月の初旬の開始で、3年生が全県総体、東北大会と重なり、申込みをして、楽しみにしていたのにもかかわらず、参加できなかつたことがありました。高校側の都合で申し訳ないですが、開始日時を考慮していただけたらありがたいです。



- No.48 平日放課後の開始時間をもう少し遅らせることが可能であれば、本荘から出ていくには助かります。
- No.49 Q2で解答した通り、単位認定や出前授業など組み合わせたらどうだろうか。
- No.50 高校側にどの生徒がどの講座を受講できることになったか、できれば知らせて欲しい。

#### ■県南地区18校から寄せられた意見

- No.51 大学での学習内容を知るため、学習意欲を高めるために良い企画であると思います。
- No.52 オープンキャンパスや学校見学等でお世話になっており、ありがとうございます。また、出前授業等も実施されており、今度活用して、生徒の進学意欲を高めたいと思っております。これからもよろしくお願いします。
- No.53 県南での開催など考慮していただき感謝しております。
- No.54 生徒にとってとても良い機会なので生徒がどんどん参加、利用してくれればと願っているのですが。
- No.55 続けて行ってほしい。
- No.56 県南には高等教育機関がないため、大学の授業がどのようなものか、大学で行われている先端的な研究はどのようなものなのかを子供達が目にすることができません。県南で開催することで子供を刺激していただきたいと思います。
- No.57 申し込みまでの期間に余裕が欲しい。
- No.58 長期休業中に、県北や県南での開講を増やせれば受講者も増えると思います。ただ、生徒ひとりひとりへのチラシはいりません。必要があれば、各校で、印刷してもらったらどうでしょうか。
- No.59 県南地区開催の科目数が増えれば参加者も出てくると思われます。
- No.60 Q2にもあったように、地理的に参加困難なために断念する生徒もいるため、中央以外でのより多くの開講が望まれる。
- No.61 魅力的な講義が多いが、遠距離であることが多く、参加できないようです。
- No.62 志望校が決まった生徒にとって高大連携授業は有意義な取り組みであり、学習意欲が更に向上する好機となっているため（連携）活用例や実施内容等が冊子になったものがあれば機会が更に増えるのではないのでしょうか。
- No.63 県南に大学・短大が立地していない為、他地区に比して参加がむずかしい。一方、この連携授業をつうじて、学ぶことへのモチベーションを高めることが出来ることは生徒にとって大きなメリットである。Q2回答にも記したように、何か新しい策も検討していただけると幸いである。

#### 県内各高等教育機関に対するアンケートとその結果

##### 高大連携合同意見交換会〈大学・短大等用〉事前アンケート集計結果

#### <アンケート対象校>

- ・対象校 県内高等教育機関 13校
- ・回答数 県内高等教育機関 13校

- Q 1 貴学では、高大連携授業の意義を、(ア) 県内高校生への自学のPRの機会、(イ) 地域貢献活動の一環、のどちらに置いていますか。 (○は1つ)

		回答数	構成比
1	(ア) に置いている	2	15.4%
2	どちらかと言えば(ア)	4	30.8%
3	どちらとも言えない	3	23.0%
4	どちらかと言えば(イ)	3	23.0%
5	(イ) に置いている	1	7.8%
6	無回答	0	0%

- Q 2 貴学では、高大連携授業をよりよい仕組みとするためにどのような取り組みが有効だと考えますか？ (○はいくつでも)

		回答数	構成比
1	受講実績について高校で単位認定を行う	5	26.3%
2	受講実績について大学で単位認定を行う	4	21.1%
3	受講実績を開講大学の推薦・AO入試で評価に加味する	5	26.3%
4	県北・県南各地域での開講科目数を増やす	5	26.3%
5	その他	0	0%
6	無回答	0	0%

- Q 3 高大連携授業に対するご意見・ご要望をお寄せください

- No.01 大学での単位認定(入学後)制度を大学で導入した場合、生徒がよりその科目(又は大学)に興味を持つようになるか？又、受験するモチベーションになるか？について各高校の御意見をうかがいたい。
- No.02 県北での開催の際には、前年までの参加者の多い高校や交通アクセスの良い高校で開催できませんでしょうか。
- No.03 高校生のニーズに合った授業を提供できるように、事業評価を行い、より積極的な方向へ改善していくべきではないだろうか。
- No.04 「募集案内」には、開講科目名とキーワードだけでなく、それぞれの回の講義内容がわかるような説明(シラバス)があってもよいのではないのでしょうか。(紙幅の関係もあると思いますが。)
- No.05 受講状況から高校生が受講を希望する授業内容に地域差があるように感じられます。高校側からの具体的要望を聞くことが出来れば参考になります。
- No.06 Q 3・4については、全学的議論が成されておらず、正確な回答はできませんが、現在、具体的な要望等は、ありません。
- No.07 高校側の具体的な要望を知りたい。
- No.08 本学の場合、講師が毎回入れ変わり、講義の内容が多岐にわたる。机やイスが移動可能な部屋がよい。
- No.09 受講希望者が多数参加できる工夫等をお願いしたい。(高校行事と重ならない様に調整する等)

Q 4 高大連携授業に限らず、県内の大学・短大等との連携についてご意見・ご要望をお寄せください

- No.10 校長レベルだけでなく、現場(教員)レベルと大学の教員レベルの話し合い(後々の課題について)の機会を持つ必要がある。  
(例)・理科ばなれ・高校のカリキュラムと大学の教養基礎教育
- No.11 各大学の特色ある科目を、それぞれの大学で開催し、高校生にわかりやすい授業を行ってはどうか。
- No.12 高校への出前授業も考えている。
- No.13 県内高校との連携を強化することで、県内大学・短大への進学者を増やすことができれば、有意義である。
- No.14 このような意見交換会をこれからも定期的に開いてほしい。
- No.15 連携授業以外での連携について、協議する場を設けてほしい。

## ■ 連携公開講座

### 平成20年度連携公開講座の実施状況

#### ■ 取り組みテーマ

「秋田元気力講座～人が元気に、地域が元気に～」

- これからの秋田を活気のある、より元気な地域にしていこう！というねらいで、秋田県内の大学や短大の知的資源を集め、幅広い研究領域の視点から地域の活性化に向けた分析や提言を県民に提供するリレー形式の公開講座。

「明るくしなやかシルバーライフ～人生後半をすこやかに～」

- 人生後半をすこやかに高齢化社会を前向きに生きる知恵を、秋田県内の大学や短大の各分野の研究者が講師を務めて開講するリレー形式の公開講座。
- シニア世代を主な対象として、わかりやすさ、したしみやすさを重視した実学講座として開講した。

#### ■ 参加機関及び講師数

＜秋田元気力講座＞

秋田大学	1名
秋田県立大学	4名
国際教養大学	2名
ノースアジア大学	1名
秋田公立美術工芸短期大学	1名
聖園学園短期大学	1名
秋田工業高等専門学校	1名
計	11名

＜明るくしなやかシルバーライフ＞

秋田大学	1名
秋田県立大学	2名
国際教養大学	2名
ノースアジア大学	2名
秋田看護福祉大学	1名
秋田栄養短期大学	1名
日本赤十字秋田短期大学	1名
秋田工業高等専門学校	1名
計	11名

■開講状況＜秋田元気力講座＞

第1回 20.10.22(水) 18:30～20:00

テーマ：「住民が主役になる運動を」

講師：国際教養大学 勝又美智雄 教授

- ◆内陸線存続問題でわかったこと
- ◆地域と大学が連携した活性化プラン＜＜田沢湖周辺の国際文化基地構想＞＞
- ◆国際教養大学を新しい文化・芸術の拠点に
- ◆青森で始まった「笑いの療法士」づくり

第2回 20.10.30(木) 18:30～20:00

テーマ：「都市の居住を考える～まちなかと郊外～」

講師：ノースアジア大学法学部 上村康之 講師

- ◆まちなか居住ブーム
  - ◆郊外住宅地の老朽化、空洞化
  - ◆全国の事例研究から
  - ◆まちなかと郊外居住の未来像
- 近年の状況分析や学会等での研究成果を整理して皆さまに情報提供いたします。  
また、秋田市都市圏について会場の皆さんと一緒に考えてみましょう。

第3回 20.11.05(水) 18:30～20:00

テーマ：「遊び塾はいかがが？～親子の絆と子どもの元気の回復～」

講師：聖園学園短期大学 腰山 豊 教授

- ◆遊び指南の塾を開こう
  - ・遊び名人、童話、紙芝居など
  - ・昔の遊び（伝承遊び）
  - ・自然遊び、川ガキ遊びのすすめ
  - ・これからの遊び ～体をつかう、ゲームの工夫～
- ◆遊び、児童文化の専門家の組織化を図ろう～遊び名人、童話・紙芝居など～

第4回 20.11.14(金) 18:30～20:00

テーマ：「地場産業を元気にするマーケティングー公開データを活用してー」

講師：秋田県立大学システム科学技術学部 嶋崎真仁 准教授

- ◆地域の元気はどこからくるの？  
地域経済をリードするのは域外から付加価値を獲得する企業

- ◆地域企業の元気はどこからくるの？ 競争に打ち勝つためには・・・
  - ①自身のマーケティング(商品企画) ②ビジネスモデルの構想力 ③製造・流通の優位性
- ◆地域企業のマーケティング力を高めよう
  - マーケティングの初歩として、公的機関が調査・公開しているデータを加工した分析方法を 紹介
- ◆“公開データ・マーケティング” はどの場面で使えるの？
  - どこに行けばデータを入手できるのかなども紹介します

**第5回** 20.11.21(金) 18:30～20:00

テーマ：「生涯現役で医者いらずの地域に地産地消で地域を元気に！  
～公的データによる地域経済システムの比較から、その条件を探る～」

講師：秋田県立大学システム科学技術学部 岸川善紀 助教

- Step 1 地域課題解決のため、抱える問題の正体を探るチカラをつけることをめざします
- Step 2 高齢化問題を事例に、公的データから地域の実態を探る方法を話します
  - 高齢化県秋田の課題に、医療・福祉費の負担増、地域産業を支える働き手不足があります。しかし、長野のように高齢者が「生涯現役」を貫くことで、一人あたり医療費が低い「医者要らず」の地域も存在します。秋田がこの「長野モデル」を導入するには、その成立条件を見極めなければなりません。そこで、公的な統計データにより地域を比較分析します。農業県を中心に高齢者の就業状況や医療・介護インフラの整備状況などを多面的に比較します。
- Step 3 「地域経済をシステムとして捉える視点」を身につけることで、地域のマーケティングや政策立案に活用できます

**第6回** 20.11.26(水) 18:30～20:00

テーマ：「デザインが地域を活性化する～デザイナーの視点から地域の活性化を考える～」

講師：秋田公立美術工芸短期大学 官能右泰 准教授

- ◆秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン学科学生(ゼミ)と企業(両関酒造(株)・秋田いなふく米菓(株)・彌高神社)とのコラボレーション実践授業による、まちおこしにつながる新商品開発プロセスと報告
- ◆デザイナーの視点から考える観光、商品開発と地域の活性化
- ◆地域活性化につながる「歴史・文化・四季」をキーワードにしたデザイナーたちの活動

**第7回** 20.12.03(水) 18:30～20:00

テーマ：「建築の見かた～建築の歴史と意匠～」

講師：秋田工業高等専門学校 角 哲 助教

- ◆日本近代を中心とした歴史的建築物の紹介
- ◆背景にある建築物、建築家の紹介
- ◆建築の意匠、造作の紹介
- ～旅行がちょっぴり楽しくなる講座ですっ～

**第8回** 20.12.09(火) 18:30～20:00

テーマ：「家庭、学校、職場を明るくする秘訣教えます」

講師：国際教養大学 佐伯知美 助教

- ★モチベーションUPの秘訣
  - ★ゴール・セッティングの秘訣
  - ★コラボレーションの秘訣
  - ★振り返りの秘訣
  - ★スムーズなコミュニケーションの秘訣
- これらの秘訣をもとに、家庭、学校、職場で発生する身近な問題の解決策を提案しますっ！！

**第9回** 20. 12. 12(金) 18:30～20:00

テーマ：「秋田における構築連携農業の展開を求めて～こまち依存症候群から脱却せよ～」

講師：秋田県立大学 佐藤 敦 名誉教授

- ☆秋田の地域特性を活かした「夏山冬里方式」による農畜連携のあり方
- ☆「米粉パン」によるコメ消費拡大などを紹介して、  
農山村地域の利益と幸福につながる試みについて、皆さんと一緒に考えてみます

**第10回** 20. 12. 17(水) 18:30～20:00

テーマ：「地域力の再認識と秋田の女性の活発力」

講師：秋田大学工学資源学部 坪井ひろみ 准教授

- ☆秋田の女性のここが“すごい”を紹介します。
- ☆秋田の女性のすごさを活用し、さらに、高齢化社会先進県“秋田”の強みを生かした  
「秋田で始めたい」、「秋田だからこそ成功する」日本で最初の取り組みを提案します

**第11回** 20. 12. 19(金) 18:30～20:00

テーマ：「グリーンツーリズムの可能性～市民の農村とのふれあい～」

講師：秋田県立大学生物資源科学部 荒樋 豊 教授

- ☆現代社会におけるグリーン・ツーリズムの意義 ～グリーン・ツーリズムって何？～  
癒しニーズの拡大／農村社会の衰退
- ☆グリーン・ツーリズムの展開状況 農家民宿／農家レストラン／農産物直売所・加工活動／農的体験
- ☆魅力的な農村の世界
- ☆グリーン・ツーリズムの担い手 ～農村女性及び高齢者の自立～

■開講状況＜明るくシルバーライフ＞

**第1回** 20. 11. 11(火) 14:00～15:30

テーマ：「映画から学ぶしたたかな老後」

講師：国際教養大学 佐伯知美 助教

- ◆地域や職場ではつらつと活躍する老後をテーマにした映画を紹介します  
◇家族や友人・仲間とのつながりをテーマにした映画を紹介します
- ◆海外の映画に描かれている「したたかな老後」を紹介します  
◇監督や出演者のインタビュー記事を読んで映画の背景を味わいましょう
- ◆シナリオも紹介しますので、お気に入りのセリフを見つけましょう  
◇映画ファンの方も、映画は若業マークという方も、どなた様でも大歓迎です

**第2回** 20. 11. 12(水) 14:00～15:30

テーマ：「高齢者農業の可能性～新たな農業をやってみよう～」

講師：秋田県立大学生物資源科学部 荒樋 豊 教授

- ◆高齢化の深まり ①高齢化の動向 ②高齢化が進んだ理由
- ◆高齢化という人口構成は変えられない ～現状の中で如何に生きるかが問われてる～  
①農村は20年早く高齢化を経験している ②農村は生涯現役
- ◆高齢者農業の特徴とその可能性  
①高齢者の農業生産活動への従事タイプ ②農外勤務経験者の環流  
③「第2の人生」これからの農業＝新たな農村ビジネス

**第3回** 20. 11. 18 (火) 14:00~15:30

テーマ：「ことばの記憶を掘り起こす一方言の消滅を救う個人の営み」

講師：秋田大学教育文化学部 佐藤 稔 教授

- ◆お金や労力をかけなくても自分の言葉を見つめることで、楽しく有意義に文化を掘り起こしましょう
- ◆生活に密着した語を思い出すことをきっかけとして、人生を豊かに二度三度と味わい尽くしましょう。  
現在と過去にしっかりと目配りして
- ◆シニアの知恵を後代に伝え、機嫌よく生きられる手だてのひとつとしましょう

**第4回** 20. 11. 20 (木) 14:00~15:30

テーマ：「駅から2~3時間のまちあるき」

講師：ノースアジア大学法学部 上村康之 講師

- ◆秋田県内のまちを、徒歩または自転車で巡ってみましょう。多くの魅力ある「まち」があり、それぞれ楽しみ方があります。
- ◆高齢の方も無理なく歩ける2~3時間以内での「あきたのまち再発見」です。
- ◆地理やまちづくり、近代化遺産、商店街、食といった話題を中心に駅から歩けるまち巡りを話します。

**第5回** 20. 11. 26 (水) 14:00~15:30

テーマ：「秋田を『癒しの里』に育てよう」

講師：国際教養大学 勝又美智雄 教授

- ◆青森で始まった「笑いの療法士」づくり運動
- ◆「姥捨て山」ではなく「姥守り山」をつくろう
- ◆「演出療法」との組み合わせを！ あきた癒しの里を目指して 笑いと元気、笑いで元気！  
温泉+医療+介護=長寿天国 リサイクル+環境保全=エコ社会

**第6回** 20. 11. 28 (金) 14:00~15:30

テーマ：「ハイテク駆使してうきうきライフ」

講師：秋田県立大学システム科学技術学部 岡野秀晴 教授

- ◆世の中は急速に技術革新が進んでいます。これらの技術を駆使すれば、楽しく生き生きとした後半生を生きることができるはず。現状と未来について、みなさんと一緒に考えてみましょう。
- ①確立されている先端技術や開発中の技術で、年配の方々の日常生活や余暇を快適に過ごす方法は？
- ②未来技術を予測して、こんなことができるようになったら老後も楽しいと思うことを考えてみましょう

**第7回** 20. 12. 4 (木) 14:00~15:30

テーマ：「化学の目をもって日常生活を考える」

講師：秋田工業高等専門学校 西野智路 准教授

- 身近な生活の中にある化学の法則など、化学的視点から日常生活を見てみましょう
- 普段、何気なく使っている製品について、化学的な視点から説明します

**第8回** 20. 12. 10 (水) 14:00~15:30

テーマ：「意欲を高めるメンタルトレーニング~心をピークにして意欲を高めよう!~」

講師：ノースアジア大学教養部 伊藤護朗 教授

- ◆“希望”がある人は生き生きしています ◆目的がはっきりしている人は我慢強くなります
- ◆そんな人になるための、メンタルトレーニングを紹介します

**第9回** 20.12.13(土)14:00～15:30

テーマ：「いきいきと心豊かな人生のために

～地域ぐるみで高齢者の生きがいを推進するヒント～」

講師：秋田看護福祉大学社会福祉学科 高橋和幸 講師

- ◆長年住み慣れた地域において「元気に生活する」ことが、高齢者にとって何よりも幸福なこと
- ◆秋田県の元気な高齢者が地域の資源を活用して健康づくりや生きがいをづくりに励んでいます
- ◆住民の絆を活かした地域ぐるみで高齢者の生きがいを推進するヒントを提案します！！

**第10回** 20.12.17(水)14:00～15:30

テーマ：「安心して住める町とは？～地域ケアネットワークで支えあい～」

講師：日本赤十字秋田短期大学 中村順子 准教授

- ◆受けたい場所で受けたい医療を受けて、死にたい場所で死ねるまち
- ◆30年後の医療の姿を考える会“メディカルタウン”構想を紹介します
- ◆病気になっても、障害を持っても安心して暮らせる町に必要なこと・ものは？
- ◆キーワードは『在宅』『情報』『教育』、そして『地域（住民の力）』
- ◆地域のネットワークを張るために私たちがすべきことを提案します！！

**第11回** 20.12.20(土)14:00～15:30

テーマ：「生活リズムと健康～睡眠と食事～」

講師：秋田栄養短期大学 廣川忠男 教授

- ◆生活習慣病の誘因は、生活リズムと生理的リズムの乱れの積み重ね。
- ◆規則正しい生活と生活リズムの調整は、体内の生理的リズムを整えます。
- ◆生活リズムと生理的リズムとの関わりを学習し、規則正しい生活の意義を一緒に考えてみましょう。

■受講登録者数及び階別受講者数

秋田元気力講座

受講登録者 118人(前年度119名)

第1回	30人	第5回	25人	第9回	12人
第2回	24人	第6回	53人	第10回	9人
第3回	11人	第7回	17人	第11回	29人
第4回	18人	第8回	13人	平均	21.9人

(前年度平均 23.5人)

明るくしなやかシルバーライフ

受講登録者 101人(前年度95名:全9回)

第1回	37人	第5回	12人	第9回	15人
第2回	21人	第6回	11人	第10回	12人
第3回	15人	第7回	20人	第11回	26人
第4回	27人	第8回	30人	平均	20.5人

(前年度平均 28.1人)



## ■ 高大連携授業

平成20年度高大連携授業<前期>科目別人数

No.	科 目 名	科目担当者	人数	男性	女性	
1	英語文化・言語・教育・コミュニケーション学入門	秋大(教) 佐々木雅子准教授	16	2	14	
2	大学の生物学入門	秋大(教) 石井照久准教授	9	2	7	
3	生命科学への招待	秋大(工) 伊藤英晃教授	18	4	14	
4	創造技法の学習 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本荘開講</span>	県大(シ) 谷内宏行教授	17	16	1	
5	高校生のゲーム理論	県大(シ) 木村寛准教授	20	16	4	
6	暮らしに役立つ生命科学	県大(生) 水野幸一准教授	8	1	7	
7	生き物たちの不思議な世界に学ぶ	県大(生) 山本好和教授	6	2	4	
8	秋田の自然と環境を科学する	県大(生) 金田吉弘教授	7	3	4	
9	アグリビジネス	県大(生) 佐藤正志准教授	12	8	4	
10	森林・木材の秘めた力を探る <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&lt;開講中止&gt;</span>	県大(木) 高田克彦教授	1	1	0	
11	森林・木材の秘めた力を探る <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大館開講</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&lt;開講中止&gt;</span>	県大(木) 高田克彦教授	3	1	2	
12	国際教養学への招待	教養大 山本尚史准教授	12	0	12	
13	夢のある国際人を目指そう	教養大 勝又美智雄教授	16	1	15	
14	楽しみながら学べる高校生のための初級ビジネスエリート講座	ノース大(経) 阿部時男教授	7	3	4	
15	みんなで観光楽を!	ノース大(法) 石山あつむ准教授	6	1	5	
16	社会福祉入門 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大館開講</span>	看護福祉 成田猛教授	11	5	6	
17	看護学を知る <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大館開講</span>	看護福祉 大奈良知子准教授	21	4	17	
18	魅力発見!	公立美短 渋谷重弘教授	12	1	11	
19	かたちづくりの世界・パート1	公立美短 渡邊有一教授	26	2	24	
20	高校生のための哲学	聖霊短大 御子神隆也准教授	13	2	11	
21	現代の食生活の諸問題	聖霊短大 山内征三教授	23	0	23	
22	高校生のための介護福祉入門	日赤短大 村上照子教授	15	4	11	
23	入門・看護と周辺分野	日赤短大 宇佐美寛准教授	70	14	56	
24	保育専門科目A	聖園短大 安藤節子教授	48	1	47	
25	ソフトウェア開発のしくみ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大館開講</span>	職能短大 徳田孝明講師	11	7	4	
26	キブルームアニメーションの機械学と最新ロボットのしくみ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&lt;開講中止&gt;</span>	職能短大 松田晃太郎講師	0	0	0	
受講申込実人員 366人 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">開講中止科目に係る者を含む</span>			科目延べ人数	408	101	307

<開講中止>科目No.10専願名1名、科目No.11専願3名、科目No.26は応募なし

平成20年度高大連携授業<後期>科目別人数

No.	科目名	科目担当者	人数	男性	女性	
	特別企画講話「医学部を目指す高校生のために」	秋田大学 三浦亮名誉教授	32	13	19	
1	海外における保健医療分野の活動	秋大(医) 工藤俊輔教授	17	5	12	
2	生物の世界を探る <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">横手城南開講</span>	県大(生) 山本好和教授	12	6	6	
3	グリーンケミストリー <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	県大(生) 栗本康司准教授	1	1	0	
4	大学の英語・英検・外国語(学点と、学ぶこと) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	県大(総) 榎木蘭鉄也准教授	2	0	2	
5	国際教養学入門	教養大 勝又美智雄教授	12	2	10	
6	今日からあなたも物価ツウ! <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	ノース大(経) 鈴木達郎教授	2	0	2	
7	“ブランド”の不思議を科学する <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	ノース大(経) 跡部学准教授	1	1	0	
8	本日オープン「放課後 法律クラブ」 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	ノース大(法) 木村澄教授	3	1	2	
9	観光とホスピタリティ	ノース大(法) 上村康之講師	9	0	9	
10	健康科学入門 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">看護福祉大開講</span>	看護福祉大 沼澤さとみ准教授	8	2	6	
11	造形表現の基礎(素描)	公立美短 渋谷重弘教授	20	3	17	
12	かたちづくる世界・パート2	公立美短 渡邊有一教授	7	0	7	
13	健康と食生活 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">栄養短大開講</span>	栄養短大 佐藤実教授	13	1	12	
14	高校生のための倫理学 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	聖霊短大 御子神隆也准教授	4	0	4	
15	高校生のための介護福祉入門 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">横手城南開講</span>	日赤短大 土室修准教授	10	1	9	
16	保育専門科目B	聖園短大 腰山豊教授	32	0	32	
17	コンピューターとものづくり <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止&gt;</span>	職能短大 田山英臣准教授	1	1	0	
18	建築施工管理技術について <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">職能短大開講</span>	職能短大 佐竹重則講師	3	3	0	
受講申込実人員 175人 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">&lt;開講中止科目に係る者を含む&gt;</span>			科目延べ人数	189	40	149

<開講中止>科目No.3 併願1名、科目No.4 専願1名併願1名、科目No.6 専願2名、  
科目No.7 専願1名、科目No.8 専願1名併願2名、科目No.17 専願1名、  
科目No.14 専願3名併願1名(うち、併願1名は後日辞退申出)

<参考>受講者の内訳

○男女別(実人員)

	20年度・後期19組	20年度・前期26組	19年度・後期10組	19年度・前期20組
男性	36人(20.6%)	90人(24.6%)	24人(15.3%)	65人(19.1%)
女性	139人(79.4%)	276人(75.4%)	133人(84.7%)	277人(80.9%)
合計	175人(100.0%)	366人(100.0%)	157人(100.0%)	342人(100.0%)

	18年度・後期13組	18年度・前期14組	17年度・後期13組	17年度・前期10組	16年度・12組
男性	20人(13.2%)	63人(18.3%)	42人(20.9%)	33人(9.9%)	48人(15.5%)
女性	132人(86.8%)	282人(81.7%)	159人(79.1%)	299人(90.1%)	262人(84.5%)
合計	152人(100.0%)	345人(100.0%)	201人(100.0%)	332人(100.0%)	310人(100.0%)

○学年別(実人員)

	20年度・後期19組	20年度・前期26組	19年度・後期10組	19年度・前期20組
1年生	43人(24.6%)	50人(13.7%)	32人(20.4%)	46人(13.5%)
2年生	62人(35.4%)	123人(33.6%)	73人(46.5%)	79人(23.0%)
3年生*	70人(40.0%)	193人(52.7%)	52人(33.1%)	217人(63.5%)
合計	175人(100.0%)	366人(100.0%)	157人(100.0%)	342人(100.0%)

	18年度・後期13組	18年度・前期14組	17年度・後期13組	17年度・前期10組	16年度・12組
1年生	25人(16.5%)	36人(10.4%)	53人(26.4%)	44人(13.3%)	72人(23.2%)
2年生	52人(34.2%)	116人(33.6%)	95人(47.2%)	104人(31.3%)	126人(40.7%)
3年生*	75人(49.3%)	193人(56.0%)	53人(26.4%)	184人(55.4%)	112人(36.1%)
合計	152人(100.0%)	345人(100.0%)	201人(100.0%)	332人(100.0%)	310人(100.0%)

\*3年生には定時制4年生を含む

○地域別(実人員)

	20年度・後期19組	20年度・前期26組	19年度・後期10組	19年度・前期20組
鹿角小坂地域	2人(1.1%)	9人(2.4%)	13人(8.3%)	18人(5.3%)
大館北秋地域	8人(4.6%)	47人(12.8%)	2人(1.3%)	32人(9.4%)
能代山本地域	5人(2.9%)	13人(3.6%)	5人(3.2%)	6人(1.8%)
秋田男鹿地域	110人(62.8%)	186人(50.8%)	104人(66.2%)	213人(62.1%)
本荘由利地域	19人(10.9%)	60人(16.4%)	9人(5.7%)	28人(8.2%)
大曲仙北地域	11人(6.3%)	34人(9.3%)	13人(8.3%)	28人(8.2%)
横手平鹿地域	20人(11.4%)	12人(3.3%)	11人(7.0%)	15人(4.4%)
湯沢雄勝地域	0人(0.0%)	5人(1.4%)	0人(0.0%)	2人(0.6%)
合計	175人(100.0%)	366人(100.0%)	157人(100.0%)	342人(100.0%)

	18年度・後期13組	18年度・前期14組	17年度・後期13組	17年度・前期10組	16年度・12組
鹿角小坂地域	2人(1.3%)	15人(4.3%)	0人(0.0%)	1人(0.3%)	0人(0.0%)
大館北秋地域	6人(3.9%)	24人(7.0%)	7人(3.5%)	0人(0.0%)	1人(0.3%)
能代山本地域	2人(1.3%)	23人(6.6%)	17人(8.5%)	13人(3.9%)	7人(2.3%)
秋田男鹿地域	86人(56.6%)	191人(55.4%)	139人(69.1%)	238人(71.7%)	250人(80.6%)
本荘由利地域	22人(14.5%)	59人(17.1%)	28人(13.9%)	60人(18.1%)	34人(11.0%)
大曲仙北地域	16人(10.6%)	17人(4.9%)	9人(4.5%)	15人(4.5%)	13人(4.2%)
横手平鹿地域	18人(11.8%)	4人(1.2%)	1人(0.5%)	5人(1.5%)	5人(1.6%)
湯沢雄勝地域	0人(0.0%)	12人(3.5%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
合計	152人(100.0%)	345人(100.0%)	201人(100.0%)	332人(100.0%)	310人(100.0%)

## ■ 社会人講座

### 平成20年度大学コンソーシアムあきた社会人講座開講科目一覧

#### ■ 社会人講座

No	科目名 ※ 人 は受講申込者数	①	②	③	④	⑤	受講料収入	備考
1	はじめてのヒンディー語-ヒンディー語会話・基礎の基礎- 秋田県立大学総合教育センター 榎木菌鉄也准教授 13人	5/31 土 14:00	6/14 土 14:00	6/28 土 14:00			15,600	
2	やさしい工学講座 -社会のなかの科学技術- 秋田県立大学 阿部紘士特任教授 開講中止 漆川芳國特任教授、竹内伸直特任教授、 武田紘一特任教授、長南征二特任教授	6/2 月 18:00	6/9 月 18:00	6/23 月 18:00	6/30 月 18:00			
3	オペラへの招待 -名作で学ぶオペラの歴史と鑑賞法- 聖霊女子短期大学 佐藤眞弓教授①②④ 27人 横浜国立大学 小宮正安准教授③ 53人	6/10 火 15:00	6/24 火 15:00	6/30 月 18:30	7/8 火 15:00		43,200 21,200	
4	経済がわかる！仕事にビジネス情報を生かそ うー経済紙の効果的利用法ー 国際教養大学 勝又美智雄教授、山本尚史准教授、日本経 済新聞社石川正浩秋田支局長 45人	6/16 月 19:00	6/23 月 19:00	7/7 月 19:00			54,000	
5	働き盛りのメンタルヘルス 秋田大学医学部保健学科新山喜嗣教授 猪股祥子助教、上村佐知子助教 26人	7/3 木 18:30	7/10 木 18:30	7/17 木 18:30			31,200	
6	論語を読む -現代社会に通じる生きるヒント- 秋田大学教育文化学部 吉永慎二郎教授 27人	8/23 土 13:30	8/30 土 13:30	9/6 土 13:30			32,400	
7	保育実践研究法～その研究計画、仮説、実践、 評価、記録の演習（4回シリーズ） 開講中止 聖園学園短期大学 腰山豊 教授	11/22 土 10:00	11/22 土 12:30	11/22 土 14:10	11/22 土 15:50			
8	テリー先生の世界旅行記-北欧編-（3回シ-ズ） 秋田大学教育文化学部 講師テリー・リー・ナガハシ 27人	10/11 土 14:00	10/18 土 14:00	10/25 土 14:00			32,400	
9	ジェイン・オースティンの「高慢と偏見」を読む 秋田県立大学 松村聡子准教授 13人	11/29 土 14:00	12/6 土 14:00	12/13 土 14:00			15,600	
10	美味しさの科学 秋田栄養短期大学栄養学科 講師 伊藤千夏・講師 東口みづか 12人	11/1 土 11:00	11/8 土 11:00	11/15 土 11:00			14,400	
11	子どもの遊びと育児支援（4回シリーズ） 聖園学園短期大学腰山豊教授・内藤裕子 15人 准教授・築地芳子准教授・小笠原京子准教授	12/20 土 10:30	12/20 土 12:40	12/20 土 14:20	12/20 土 16:00		24,000	

No	科目名 ※ 〇人 は受講申込者数	①	②	③	④	⑤	受講料収入	備考
12	海洋学から見た海の森づくり(仮) 国際教養大学—松田恵明外部講師 開講中止 ※講師から連絡なし							
13	園芸療法—園芸活動を福祉や教育に役立てる— 秋田県立大学生物資源科学部 23人 神田啓臣准教授	1/20 火 13:30	1/20 火 14:40	1/20 火 15:50			18,400	
14	象牙の塔から市民の広場へ—秋田における息吹— 前秋田大学長 75人 三浦 亮氏 <社会人特別講座受講無料>	11/22 土 13:30						
15	小宮先生と過ごすヨーロッパ芸術の夕べ —カラヤンと20世紀— 52人 横浜国立大学教育人間科学部小宮正安准教授	11/10 月 18:30	12/8 月 18:30				41,600	
16	梵字(サ-ガ-リ-文字)入門—インドの文字を書いてみよう— 秋田県立大学総合教育センター 17人 榎木蘭鉄也准教授	1/10 土 14:00	1/24 土 14:00	2/7 土 14:00			20,400	
17	葉を知って健康に生きる 秋田看護福祉大学看護福祉学部 21人 看護学科田中禮子教授	12/2 火 14:00	12/9 火 14:00	12/16 火 14:00			25,200	
18	ドイツ民謡に楽しむII「ドイツのクリスマス歌」 聖霊女子短期大学音楽科 24人 佐藤眞弓教授	10/28 火 15:00	11/11 火 15:00	11/25 火 15:00			28,800	
19	文化のなかののインドネシア語 秋田大学教育文化学部 10人 三宅良美准教授	2/5 木 18:30	2/12 木 18:30	2/19 木 18:30			12,000	
20	実用的文章の書き方 秋田大学名誉教授・秋田県立大学名誉教授 26人 三浦順治先生	11/27 木 19:00	12/4 木 19:00	12/11 木 19:00	12/18 木 19:00	12/25 木 19:00	52,000	※補講 1/15 19:00

### ■受講者の内訳

受講者数 506名 (1科目あたり29.8名)

うちアンケート回収 325名 (男性106名、女性219名)

年代	人数	構成比
10代	3	0.9
20代	17	5.3
30代	47	14.5
40代	52	16.0
50代	83	25.5
60代以上	122	37.5
無回答	1	0.3
計	325	100.0

職業	人数	構成比
学生	8	2.5
職業人	145	44.6
自営業	18	5.5
主婦	91	28.0
無職	60	18.5
無回答	3	0.9
計	325	100.0

## ■ サイエンスプラザ

### 大学コンソーシアムあきたサイエンスプラザの実施状況

#### ■主旨

サイエンスプラザは、大学の研究者と市民がアットホームな雰囲気の中で楽しく語り合う新しいスタイルのイベントとして実施している企画。

「科学って難しい」「誰かに質問したいけれど」などの声にも応え、大学の研究者が案内人となって身近な科学に触れる機会を市民に提供しようとするもの。

普段は話をする機会がない大学の研究者とひとつのテーマの下、実際に見て触ったり、語り合ったり、さらには食してみたり、という実体験を通して、楽しみながら参加者の好奇心を満たす、研究者と市民が「知」の世界を通じて触れあう社交場として運営している。

#### ■食べる生物学

##### 1 テーマ

「食べる生物学ー身近な魚貝類で美味しく学ぶ生命の不思議ー」（6話シリーズ）

##### 2 案内人（講師）

秋田大学教育文化学部 石井照久 准教授

##### 3 対象

一般県民（年齢制限等を設けず、どなたでも参加可として参加者を募集）

※参加費無料、参加者は希望回に出席可とし定員20名で募集、25名までを受付

##### 4 参加状況

第1話	申込23名	参加者21名（うち小学生5名）	※小学3年1名、4年3名、5年1名
第2話	申込27名	参加者24名（うち小学生5名）	※小学3年1名、4年3名、5年1名
第3話	申込23名	参加者18名（うち小学生5名）	※小学3年1名、4年3名、5年1名
第4話	申込24名	参加者21名（うち小学生7名）	※小学3年1名、4年5名、5年1名
第5話	申込24名	参加者21名（うち小学生7名）	※小学3年1名、4年5名、5年1名
第6話	申込24名	参加者19名（うち小学生5名）	※小学3年1名、4年3名、5年1名

##### 5 各回テーマ

第1話	平成20年10月10日(金) 18:30~20:00	※活ウニは悪天候により未入荷 「ウニ、ナマコーとげの皮をもった動物ー」	観察材料：男鹿産海鼠
第2話	平成20年11月14日(金) 18:30~20:00	「アジー魚の構造を知ってさばくー」	観察材料：道川産マアジ
第3話	平成20年12月19日(金) 18:30~20:00	「ホヤー脊椎動物のルーター」	観察材料：石巻産殻つきホヤ
第4話	平成21年 1月23日(金) 18:30~20:00	「イカー背骨のない動物ー」	観察材料：鳥取産スルメイカ
第5話	平成21年 2月20日(金) 18:30~20:00	「シラスとハマグリー海洋生態系を知るー」	観察材料：三重産畜養活蛤
第6話	平成20年 3月 6日(金) 18:30~20:00	「カニー10本の足を持つー」	観察材料：北海道産サケノコ・ズワイガニ

## 6 進め方

30分 案内人によるレクチャー

30分 解剖・観察

30分 調理・食材に纏わる蘊蓄・試食

## 7 設備等の準備

水道及び排水については、カレッジプラザ大講義室に簡易シンク、ポリ水缶、ホース、バケツ排水で代用。熱源はカセットボンベ式コンロ。

## ■身の回りの科学の？はてな？

### 1 テーマ

「身の回りの科学の？はてな？」(4話シリーズ)

### 2 案内人(講師)

国際教養大学 安積 徹 客員教授 (Question 1～2 担当)

秋田看護福祉大学 奥野智旦 教授 (Question 3～4 担当)

### 3 対象

一般県民(年齢制限等も設けず、どなたでも参加可として参加者を募集)

※参加費無料、参加者は希望回に出席可とし定員15名で募集、20名までを受付

### 4 参加状況

Question 1 申込 20名 参加者 15名

Question 2 申込 22名 参加者 12名

Question 3 申込 26名 参加者 19名

Question 4 申込 32名 参加者 20名

### 5 各回テーマ

Question 1 平成20年 9月13日(土) 14:00～15:30

「ダイオキシンってどれくらい毒なの？」

Question 2 平成20年10月 4日(土) 14:00～15:30

「マイナスイオンが体にいいって本当？」

Question 3 平成21年 2月14日(土) 14:00～15:30

「遺伝子を知るー生命の設計図の解読が始まった！ー」

Question 4 平成21年 2月28日(土) 14:00～15:30

「遺伝子組み換えー青いバラはどうやって作られたのかー」

## 6 進め方

45分 案内人によるレクチャー

～休憩・コーヒープレイク～

45分 コミュニケーション・タイム(質問あり、雑談あり)

～講師と受講者、受講者同士のフリートーク～

## ■ 中大連携授業

### 大学コンソーシアムあきた中大連携授業の実施状況

#### ■ 事業経過と実施方法の変更

##### 1 ねらい

秋田県内の高等教育機関による地域貢献活動の一環として、中等教育部門との連携による地域の教育活動への支援を図るため、中学校の学習状況を踏まえ、かつ、生徒が自ら考え学ぶ姿勢の涵養など中学校学習指導要領に定める「総合的な学習の時間」の主旨や目的を踏まえた上で、総合的な学習の時間を活用した県内大学等の教員による企画授業を実施する。

##### 2 事業経過

平成20年6月 秋田市内の全中学校へ中大連携企画授業の実施について通知

- ・大学による提供事業の企画例（8メニュー）を配布
- ・中学校における総合的な学習の時間を活用した出前授業
- ・出前授業実施希望校は依頼書をカレッジプラザに提出

平成20年9月 中学校からの実施希望なし。各中学校等に状況を聴き取り

- ・S中学校では高齢者への理解を深める取り組みとして、高齢者疑似体験(ブラインドウォーク等)を実施している。今年度は既に実施したので、平成21年5～6月に実施をお願いできないか → 平成21年度の扱い
- ・総合的な学習の時間の使い方については比較的自由度が高いため、他の目的（修学旅行の説明会等）へ転用する機会も多く、結果的に出前授業等を受け入れる時間枠は少なくなっている。
- ・各中学校においてテーマ設定による長期的な取り組みとして実施するよう市教委から求められており、メニュー提示をされてもテーマと合致したものでなければ出前授業を受け入れにくいという事情がある。

##### 3 実施方法の変更

中学校から出前授業実施の申込がなかったことから、今年度の事業実施方法について以下の検討を行った。

- ①メニューの拡大 → ・各中学校取組テーマの個別聴取は難しい  
・各中学校の取組テーマに合わせて出前授業メニューを作成することは時間的に難しい
- ②応募型授業の展開 → ・長期休業中（冬期休業）の実施を検討

#### ■ 生徒応募型中代連携授業「みんな集まれ！楽しい科学教室」

##### 1 タイトル

中学生冬休み特別企画

「みんな集まれ！楽しい科学教室～ふしぎの世界を探検しよう～」

##### 2 日時

平成20年1月8日(木)～11日(日) 各日とも午後1時30分～午後3時



### 3 会場

カレッジプラザ

### 4 対象

中学校1～2年生（受講希望生徒が応募、参加費無料）

### 5 参加状況

ふしぎワールド No.	開催日	申込者数 (人)	受講者数 (人)	左の学年別				男女別		
				1年	2年	3年	計	男	女	計
1	1月8日(木)	16	14	11	3		14	6	8	14
2	1月9日(金)	6	4		4		4	1	3	4
3	1月10日(土)	11	10	8	2		10	7	3	10
4	1月11日(日)	7	3	2	1		3	2	1	3
計	のべ数	40	31	21	10		31	16	15	31
	実人員	22	20							

### 6 テーマ・講師

ふしぎワールド 1 平成21年1月 8日(木) 13:30～15:00

「シラス観察で学ぶ海洋生態系の不思議～シラスを観察して海の生態を知ろう！～」

秋田大学教育文化学部 石井照久 准教授

ふしぎワールド 2 平成21年1月 9日(金) 13:30～15:00

「リスクってなんだ？～どっちがヤバイ？火事・オヤジ～」

秋田県立大学システム科学技術学部 金澤伸浩 准教授

ふしぎワールド 3 平成21年1月10日(土) 13:30～15:00

「セラミックスって面白い～こんなところにセラミックス！？～」

秋田工業高等専門学校物質工学科 西野智路 准教授

ふしぎワールド 4 平成21年1月11日(日) 13:30～15:00

「まちのお宝発見！！～建築のみかた～」

秋田工業高等専門学校環境都市工学科 角 哲 助教

### 7 受講者アンケート

各回の授業毎にアンケート用紙を配布し調査、以下はその集計結果

#### (1) 対象者数

受講者のべ人数 31人

アンケート回収数 29人（回収率 93.5%）

#### (2) 回答者属性

学年	回答数	構成比
1年生	19	65.5
2年生	10	34.5
計	29	100.0

性別	回答数	構成比
男性	15	51.7
女性	14	48.3
計	29	100.0

Q 1 あなたは「楽しい科学教室」を何で知りましたか？ (○はひとつ)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	ポスター	2	6.9
2	募集案内チラシ	5	17.2
3	新聞	2	6.9
4	教員からの情報	5	17.2
5	友人からの情報	9	31.1
6	家族からの情報	4	13.8
7	その他 (エコクラブからの情報)	2	6.9
計		29	100.0

Q 2 あなたはどうしてこの科目を受けようと思いましたか？ (○はひとつ)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	興味のある科目だったから	18	62.1
2	大学の先生の授業だから	0	0.0
3	進路選択の参考になるから	0	0.0
4	おもしろそうだったから	2	6.9
5	友達に誘われたから	2	6.9
6	親に勧められたから	4	13.8
7	先生に勧められたから	3	10.3
8	その他 ( )	0	0.0
計		29	100.0

Q 3 あなたは「楽しい科学教室」の日にちをどう思いましたか？ (○はひとつ)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	他の日がよい	0	0.0
2	今のままでよい	28	96.5
3	無回答	1	3.5
計		29	100.0

Q 4 あなたは「楽しい科学教室」の時間帯をどう思いましたか？ (○はひとつ)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	他の時間帯がよい (欄外別記)	4	13.8
2	今のままでよい	25	86.2
3	無回答	0	0.0
計		29	100.0

(別記) 午前9時30分～ 1人 午後2時30分～ 3人

## 大学コンソーシアムあきた平成20年度事業収支決算書

＜会計期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日＞

収入額 5,701,446円

支出額 5,656,961円

差引額 44,485円(翌年度へ繰越)

(単位:円)

	科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (A)-(B)	備考
収 入	1負担金(大学)	1,500,000	1,500,000	0	4年制:300,000円
	2負担金(短大等)	800,000	800,000	0	短大等:100,000円
	3秋田県補助金	2,300,000	2,300,000	0	運営費補助
	4聴講料	30,000	0	30,000	単位互換授業聴講料
	5受講料	360,000	482,400	△122,400	社会人講座受講料
	6雑収入	0	1,856	△1,856	預金利息
	7繰越金	610,000	617,190	△7,190	平成19年度から繰越
	収入合計	5,600,000	5,701,446	△101,446	
支 出	1事務局運営費	543,000	510,827	32,173	
	(1)各種会議費	63,000	53,098	9,902	会議用お茶・参加費
	(2)事務局運営費	480,000	457,729	22,271	消耗品・通信費
	2事業費	5,057,000	5,146,134	△89,134	
	(1)募集等事務及び広報費	1,020,000	1,046,730	△26,730	募集資料・HP管理
	(2)単位互換授業運営費	300,000	277,870	22,130	シラバス作成費
	(3)研修事業費	560,000	491,300	68,700	全国フォーラム旅費
	(4)連携公開講座運営費	300,000	310,605	△10,605	講師謝金
	(5)高大連携授業運営費	1,494,000	1,944,077	△450,077	講師謝金
	(6)社会人講座運営費	900,000	805,554	94,446	講師謝金・資材費
	(7)対外広報運営費	225,000	202,945	22,055	講師謝金・観察材料
	(8)中大連携授業運営費	258,000	67,053	190,947	講師謝金・実験材料
	支出合計	5,600,000	5,656,961	△56,961	
収支差引額	0	44,485			

# 監査報告書

大学コンソーシアムあきた理事長 吉村 昇 様

大学コンソーシアムあきたの業務について、大学コンソーシアムあきた規約第8条第3項の規定に基づき監査を行いましたので、その結果について次のとおり報告します。

1 監査年月日 平成21年4月13日(月)

2 監査の対象となった期間

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

3 監査事項

(1) 財産、会計並びに現金の出納及び物品等の取得に関する書類

(2) 平成20年度事業実績書

(3) 平成20年度収支精算書

4 監査の結果の概要及び意見

監査事項それぞれについては適正に執行及び作成されており、現金出納及び保管状況についても正確であるものと認める。

平成21年4月13日

監事

竹村達三



監事

葛西 孝



## 大学コンソーシアムあきた平成21年度事業計画(案)

## ■ 理事会・運営委員会等の開催

規約、事業計画、収支予算の決定、事業運営に係る協議、事業報告及び収支決算の報告及び審議のため、理事会・運営委員会その他必要な会議を開催する。

## ■ 拠出負担金の収入

理事会決定の規約に基づき、構成機関の拠出負担金を収入する。併せて、秋田県補助金の交付申請及び受入を行う。

拠出負担金(大学)	@300,000×6校=	1,800,000	秋大、県大、教養大、ノアゾア大、看護福祉大、日赤看護大
"	(短大等)@100,000×8校=	800,000	美工短大、栄養短大、聖霊短大、日赤短大
	計	2,600,000	聖園短大、秋田高専、放送大、職能短大

## ■ 大学間連携の推進

## 1 単位互換協定の運営

秋田県における大学、短期大学及び高等専門学校間の単位互換に関する協定の改廃を要する事案に関する協議及び決定のほか、単位互換全般の運営を行う。

カレッジプラザを会場として単位互換授業を行う場合には、科目提供大学等との調整や受講案内資料の作成及び広報、会場及び機器の設営などを行う。

<協定期間>19.4.1~22.3.31 <協定参加機関>11大学等

## 2 大学コンソーシアムあきた聴講生

科目提供大学と協議の上、カレッジプラザで開講される単位互換授業に社会人を受け入れる場合、聴講料を徴収し大学コンソーシアムあきた聴講生として受け入れる。

## 3 プロジェクト『4A』の事業協力

戦略的大学連携支援事業プロジェクト『4A』による「秋田戦略学」や「高大連携単位取得予約型授業」の事業展開に際しては、大学コンソーシアムあきた事業との協働実施など事業協力を行う。

## 4 職員研修・講演会

構成機関事務職員の大学運営に関する能力をはじめ、幅広い知識の涵養など一層の資質向上をねらい、職員等を対象とする講演会や研修を企画実施する。

<例1>財務、教務等大学運営全般や地域貢献活動など、大学事務職員のスキルアップに役立つ分野をテーマにした講演会・研修会

<例2>秋田県内高校と大学・短大による連携のための合同意見交換会

## ■ 地域貢献活動の推進

### 1 連携公開講座

構成機関の知的資源を活用し、それぞれの特色を発揮しながら相互に連携し、秋田県の地域課題の解決を図る、又は解決方向を示唆する公開講座を構成機関と参画テーマを調整して実施する。

#### <テーマ設定>

次の取り組みテーマ（大括り2テーマ）で引き続き実施する

#### **テーマ1** 秋田元気力講座～人が元気に、地域が元気に～

これからの秋田を活気のある、より元気な地域にしていこう！という視点で秋田県内の大学や短大の知的資源を集め、幅広い研究領域の視点から地域の活性化に向けた分析や提言を県民に提供するリレー形式の公開講座。

#### **テーマ2** 明るくしなやかシルバーライフ～人生後半をすこやかに～

人生後半をすこやかに高齢化社会を前向きに生きる知恵を、秋田県内の大学や短大の各分野の研究者が講師を務めて開講するリレー形式の公開講座

#### <開講方式>

構成大学等がテーマ毎の担当講師を推薦し、それぞれの参画の視点を持ち寄って構成する

#### <開講回数・時期等>

テーマ毎に一定のまとまりのある期間内に開講を計画するが、概ね10月以降から2月頃までの時期を目処とする。

#### <開講場所>

カレッジプラザのほか県北・県南地域での開催についても模索し、構成機関が主催する公開講座との共催などによる開講も検討する。

#### <講座運営の工夫例>

秋田の活性化をテーマとする講座には学生の聴講者も増えてきていることから、より学生が興味を持つテーマ設定や開講場所の工夫などにより、交流機会の創出も検討しながら、地元出身学生以外の聴講も働きかける。

### 2 高大連携授業

高校生が学問への関心を高め、あるいは進路決定の参考となるよう大学や短期大学等の授業を受講する機会を設け、希望者応募方式で高校生を募る。

<実施時期>前期：5～7月実施、4月募集、週1回ペース／5週

後期：9～11月実施、8月募集

<会場>カレッジプラザ、大館市、由利本荘市、横手市など

<科目>

- (1) 各大学等の特色を生かし、受講希望者の関心が高い科目を開講する。
- (2) 実験・実習を伴う科目の場合は、5回のうちの数回を大学等施設で実施するなど、講義以外の体験についても重視して行う。
- (3) プロジェクト『4A』による単位取得予約型授業と共に実施する。

### ＜授業運営の工夫＞

- (1) 講義スタイルのほか、カレッジプラザで行う授業においても簡易な実験を取り入れるなどの工夫について科目提供大学等と協議し実施する。
- (2) 科目担当講師の所属大学等から学生を参加させ、授業時間の一部を利用して高校生との意見交換や座談会の機会を設けるなど、実際の大学等における学びや学生生活について、イメージできる機会を設ける。
- (3) モバイルシステムを活用し、科目募集や受講申込を携帯電話からも行えるようにし、受講者の拡大を図る。
- (4) 設問や自由記載欄により受講生の意見や感想を把握するようにし、担当講師に送付するほか、運営委員会において提示する。

### 3 社会人講座

県内高等教育機関の教育研究資源を地域に還元するために、主に社会人を対象に、体系的な知識の習得を目指す質の高い教育機会を、受講者にとって利便性の高い手法により提供することを目的とする。この講座で提供される授業科目の内容は、既存の一般的な生涯学習サービスとの一定の差別化を図り、大きく「実学系」（知識の有用性を重視）、「教養系」（質の高い学びの楽しみを重視）という2つの軸を設け、大まかに次の類型とする。

○職業や各種社会活動に役立つ知識・技能に関するもの

**実学系**

（経営、医療・福祉、教育、地域活動等）

○政治・経済・社会・科学技術の動向に関するもの

**中間**

（経済・産業情勢、地域研究、国際関係等）

○文化、芸術、歴史など高度な教養に関するもの

**教養系**



＜開講科目数＞ 20科目程度

＜開講場所＞ カレッジプラザを利活用する

＜受講料＞ 受講者から1コマあたり400円の受講料を徴収する

### 4 サイエンスプラザ

大学の研究者と市民の方々がアットホームな雰囲気楽しく語り合うスタイルのイベントとしてサイエンスプラザを実施する。講演会やシンポジウム形式など従来のスタイルにとらわれない運営とし、テーマも理系分野に限定しない。

また、研究者と市民がひとつのテーマについて気軽に語り合うコミュニケーション型講座として、研究者と市民が同じ目線で語り合うことをねらう。

運営スタイルは自由度を高くし、映像資料のみならず、実体観察、実験などの手法も取り入れ、参加者自らが見て触れる体験型手法にも配慮して実施する。

＜開講テーマ数＞ 4テーマ程度（複数回シリーズ可）

＜開講場所＞ カレッジプラザを利活用する

＜受講料＞ 無料

## 5 中大連携授業

中等教育部門との連携による地域の教育活動を支援し、中学生に多様な教育機会を提供することを目的に、構成機関の教員による中学生向け企画授業を展開する。特に科学技術系科目における企画授業提供に重点を置く。

### <進め方>

- 《出前授業型》秋田県内中学校の実施校を募集
  - 各大学等から企画授業の提案を募り、授業メニューを作成
  - 実施希望校は講師派遣(企画授業実施)依頼書を提出
  - 中学校の要望を取り入れ実施できるよう実施計画等を調整
- 《生徒応募型》生徒の長期休業期間等を活用した企画講座の提供
  - 中学校を通じ講座情報を提供、カレッジプラザで実施
  - 受講を希望する生徒が自ら申し込む「生徒応募型」で実施
- 主催企画講座を定期的を開催することにより、科学技術系に興味関心の高い生徒が継続的に受講を続ける契機とし、理系分野への進学の動機付けを図る

<開講場所> 県内中学校又はカレッジプラザを利活用する

<費用負担> 大学コンソーシアムあきたが負担する(中学校は負担なし)

## 6 各大学主催公開講座の開講推奨

各大学等が主催する公開講座や研究会の開催を働きかけ、カレッジプラザを会場に実施する。これにより、利便性の高い場所で大学の知的資源を県民に提供する教育サービスを一層活発化する。

## 7 地域貢献活動の広報等

- ホームページ、電子掲示板、モバイル版ホームページによる講座情報などの随時提供
- 各種講座情報などの報道各社あてリリースによる大学コンソーシアムあきた事業の情報発信
- 県民ニーズの一元的な対応窓口として各構成機関との調整等役割を担う

## ■ 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

毎年開催される全国大学コンソーシアム協議会主催の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加、教育研究・地域貢献活動等に関し情報交換する。

### ○第6回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

2009年度開催地：北海道函館市(第5回フォーラムで決定)

平成21年9月12日(土)～13日(日)

※「地域連携・社会貢献分科会」及び「コンソーシアムの組織運営分科会」において大学コンソーシアムあきたの取り組みを発表する



## 大学コンソーシアムあきた平成21年度事業計画案 &lt;概要&gt;

- 理事会・運営委員会等の開催
- 構成機関負担金の収入・秋田県補助金交付申請
- 大学間連携の推進
  - 1 単位互換協定の運営
  - 2 大学コンソーシアムあきた聴講生
  - 3 プロジェクト『4A』との事業協力
  - 4 職員研修・講演会
- 地域貢献活動の推進
  - 1 連携公開講座
    - テーマ1 秋田元気力講座～人が元気に、地域が元気に～
    - テーマ2 明るくしなやかシルバーライフ～人生後半をすこやかに～
  - 2 高大連携授業の実施
    - <実施時期>前期：5～7月実施、4月募集、週1回ペース／5週  
後期：9～11月実施、8月募集 //
    - <会場>カレッジプラザ、大館市、由利本荘市、横手市など
    - <運営>①モバイルシステムによる広報・申込を併用  
②単位取得予約型授業の検討
  - 3 社会人講座
    - <科目数> 20科目程度（実学系～教養系）
    - <受講料> 1コマあたりの受講料400円
  - 4 サイエンスプラザ
    - 大学の研究者と市民の方々が気軽な雰囲気楽しく語り合うスタイル
    - <テーマ数> 4テーマ程度
    - <受講料> 無料
  - 5 中大連携授業
    - 中等教育部門との連携による地域の教育活動を支援し、中学生に多様な教育機会を提供することを目的に科学技術系などの企画授業を展開する。
  - 6 各大学主催公開講座の開講推奨
  - 7 ホームページ、電子掲示板、モバイル版ホームページによる広報活動
- 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムにおける発表
  - 第6回函館大会において事例発表（組織運営分科会、社会貢献分科会）

## 平成21年度事業計画案・予算案作成における主な変更点等について

### ■ 収入

- ① 日赤秋田看護大学の新規加入意向を基に、負担金収入純増30万円を見込む。
- ② 聴講料収入は秋田戦略学など1単位授業の開講に合わせたコマ数の見直しによるもの。 @400×15コマ×5人 → @400×7コマ×5人
- ③ 繰越額の目処を約30万円とし、年度初めにおける負担金収入等がない時期における事務消耗品などの運営に充てることとしていたが、モバイルシステムの構築に伴うホームページ制作費約27万円を平成20年度予算で執行したため、平成21年度への繰越額は4万4千円ほどとなった。

### ■ 支出

- ④ 事業体系は前年度とほぼ同じ。戦略的大学連携支援事業「プロジェクト4A」の事業展開に協力し、大学コンソーシアムあきた事業も積極的に展開する。
- ⑤ プロジェクト4Aが教育・研究支援の事業展開方向であることから、大学コンソーシアムあきた事業は、大学間連携による県民向け地域貢献活動に、より傾注した方向で展開し、大学発の優れた教育サービスを提供するとともに県民の大学理解を深めてもらうことをねらいとする。

一方では、プロジェクト4Aによる単位取得予約型高大連携授業などと共に高大連携授業や中大連携授業など中等教育の支援への事業展開を図る。

- ⑥ 単位互換授業及び高大連携授業に係る謝金の廃止。プロジェクト4Aによる「単位取得予約型授業・単位互換授業の謝金を受け取らないことへの合意」によるもの。なお、高大連携授業等においては秋田市以外の授業会場へ講師が移動した場合、JR運賃を支出する。
- ⑦ 高大連携謝金の廃止を主な財源としてより一層の中等教育への支援を掲げ、中大連携授業による企画講座を定期的を開催することなどにより、科学技術系分野に興味関心の高い生徒の継続的受講をねらい、理系分野への進学への動機付けを図る。
- ⑧ 職員研修事業においては、大学教職員に限らず、学生や一般県民にも広く学びの機会を提供し、大学コンソーシアムあきたの発信性を高めるため、著名な県外大学教員等による講演会を企画実施する。

特に、平成21年度は大学コンソーシアムあきた設立から5年目の活動期を迎える節目であることから、県民の認知度が高い講師を招聘した特別企画講演会を開催して、大学コンソーシアムあきたの一層の情報発信を図る。



大学名	会場	科目名/～サブタイトル～	科目担当者	1講	2講	3講	4講	5講	6講	7講	8講
秋田県立大学 生物資源科学部		⑩秋田の自然と環境を科学する	生物環境科学科	7/5	7/5	7/5	7/5	7/12	7/12	7/12	7/12
		～身近な自然の再発見～	教授 金田吉弘	前期 日曜 9:30～11:00, 11:10～12:40, 13:10～14:40, 14:50～16:20							
	第1講	ブザ 土壌資源の役割と保全	教授 日高 伸	7/5							
	第2講	ブザ 環境保全と両立した農業生産	准教授佐藤 孝		7/5						
	第3講	ブザ 秋田の環境をはかる	准教授木口 倫			7/5					
	第4講	ブザ 身近な水環境から学ぶ微生物の生態と物質循環の係わり	准教授宮田直幸				7/5				
	第5講	ブザ 秋田の森のすがた	教授 蒔田明史					7/12			
	第6講	ブザ 環境資源から見た森林	教授 飯島泰男						7/12		
	第7講	ブザ 継続可能な地域社会づくり	准教授中村勝則							7/12	
	第8講	ブザ グループ討論	教授 金田吉弘								7/12
秋田県立大学 生物資源科学部		⑪アグリビジネス	アグリビジネス学科	6/21	6/21	6/21	6/21	6/28	6/28	6/28	6/28
		～豊かで健康的な生活を支える農業の力～	教授 千葉和夫	前期 日曜 9:30～11:00, 11:10～12:40, 13:10～14:40, 14:50～16:20							
	第1講	ブザ 大切な農業を支えている農村の元気を取り戻す	教授 荒樋 豊	6/21							
	第2講	ブザ 地域農業を支える共同の力	助教 椿 真一		6/21						
	第3講	ブザ アメリカ農業の2つの方向	准教授佐藤加寿子			6/21					
	第4講	ブザ 豊かな日本型食生活	教授 長谷川恒行				6/21				
	第5講	ブザ お米と稲作を見直そう	教授 千葉和夫					6/28			
	第6講	ブザ 園芸の最前線	准教授神田啓臣						6/28		
	第7講	ブザ 「不耕起農法」を科学する	教授 佐藤照男							6/28	
	第8講	ブザ グループ討論	教授 千葉和夫								6/28
国際教養大学		⑫国際教養学への招待	国際教養学部	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4			
		～Invitation to International Liberal Arts～	教授 勝又美智雄	前期 土曜 13:30～15:00							
	第1講	ブザ 地球温暖化と菜食主義	教授 ショウ・ニシカワ	6/6							
	第2講	ブザ 宇宙についてどこまでわかったか	助教 奈良 寧		6/13						
	第3講	ブザ 中国のこぼれと文化	助教 山崎直也			6/20					
	第4講	ブザ 英語で世界を広げよう、英語で世界にはばたこう	助教 佐伯知美				6/27				
	第5講	ブザ スポーツとメディアのあま～い関係	准教授加藤清孝					7/4			
国際教養大学		⑬夢のある国際人を目指そう	国際教養学部	5/30	5/30	6/13	6/13				
		～自分のキャリア・プランづくり～	教授 勝又美智雄	前期 集中 13:30～16:30 (2コマ)							
ノースアジア大学 法学部		⑭観光とホスピタリティ	観光学科	6/4	6/11	6/18	6/25				
			講師 上村康之	前期 木曜 17:30～19:00							
	第1講	ブザ 観光学は観光楽	特任教授 石山あつむ	6/4							
	第2講	ブザ 仮想旅行体験	准教授吉田拓也		6/11						
	第3講	ブザ 観光学科生との懇談と仮想旅行体験の総括	講師 上村康之			6/18					
	第4講	ブザ 航空会社のホスピタリティ	特任教授 新谷恵子				6/25				
秋田看護福祉大学 看護福祉学部		⑮看護学を知る	看護学科	7/11	7/18	7/25	8/1				
		～看護のあり方を探る～	講師 畠山禮子	前期 土曜 13:30～15:00							
	第1講	大館 健康ってなあに？	講師 日景真由美	7/11							
	第2講	大館 血圧を測ってみよう	助教 渡邊繭子		7/18						
	第3講	大館 手洗いをしてみよう	助教 佐藤純子			7/25					
	第4講	大館 精神を病む人の特徴と理解	講師 畠山禮子				8/1				
秋田公立美術 工芸短期大学		⑯魅力発見！	工芸美術学科	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27		
		～漆、テキスタイル、陶芸、鍍金、ガラス、木工～	学科長 鈴木 司	前期 土曜 13:30～15:00							
	第1講	ブザ 漆工芸の魅力とその表現	准教授熊谷 晃	5/23							
	第2講	ブザ テキスタイル（染織）とはなにか	准教授 長沢桂一		5/30						
	第3講	美短 土と遊ぶ	教授 平野庫太郎			6/6					
	第4講	ブザ 立体の力	教授 島屋純晴				6/13				
	第5講	美短 1,200℃のドロドロの溶けたガラス素材の魅力のをぞいてみよう	教授 小牟禮尊人					6/20			
	第6講	ブザ 木材工芸の魅力とその表現	准教授山岡 惇 教授 松本研一						6/27		6/27

大学名	会場	科目名/～サブタイトル～	科目担当者	1講	2講	3講	4講	5講	6講	7講	8講
秋田公立美術 工芸短期大学		①⑦かたちづくる世界・パート1 ～デザインの思考と表現～	産業デザイン学科 学科長 渡邊有一	5/23	5/30	6/13	6/27	7/4			
				前期 土曜 15:15～16:45							
	第1講	イラストレーションの魅力	助教 丸岡慎一	5/23							
	第2講	情報デザインとはなにか	助教 斐 鎮爽		5/30						
	第3講	楽しいプログラミング	教授 野村松信			6/13					
	第4講	キャラクター・コミュニケーションの魅力	准教授官能右泰				6/27				
第5講	色の形	准教授金 孝卿					7/4				
聖霊女子短期大学		①⑧高校生のための哲学	文化コミュニケーション科	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17			
	ブザ	～学び、働き、生きることの意味について考える～	准教授 御子神隆也	前期 水曜 17:30～19:00							
聖霊女子短期大学		①⑨食品と栄養の基礎知識	生活文化科	6/6	6/20	6/27	7/11	7/18			
			教授 塚田三香子	前期 土曜 13:30～15:00							
聖霊女子短期大学	第1講	食品成分とその働きについて	教授 三森一司	6/6							
	第2講	からだに必要な栄養素	准教授進藤祥子		6/20						
	第3講	食品の調理法	講師 大野智子			6/27					
	第4講	食品の安全性	教授 塚田三香子				7/11				
	第5講	食品の流通	教授 山内征三					7/18			
		②⑩ようこそ保育の道へ	生活文化科	6/6	6/13	6/20	6/27	7/11			
		教授 横山智也	前期 土曜 13:30～15:00								
日本赤十字秋田 看護大学・短期大学	第1講	歌とお話	准教授高橋勝子	6/6							
	ブザ		講師 酒井 貴	6/6							
	第2講	のびた・ジャイアンの生活	講師 三浦奉宣		6/13						
	第3講	元気な子どもを育てるには	教授 岩田浩子			6/20					
	第4講	色はなぜ見えるか	教授 横山智也				6/27				
	第5講	子どものあそび	講師 佐藤節子					7/11			
日本赤十字秋田 看護大学・短期大学		21看護学への招待	看護学科	8/6	8/6	8/6	8/7	8/7			
			教授 佐々木理恵子	前期集中 ①④11:00～12:30、②⑤13:30～15:00、③15:15～16:45							
	第1講	基礎看護学	教授佐々木理恵子	8/6							
	第2講	成人看護学	准教授磯崎富美子		8/6						
	第3講	老年看護学	教授 佐藤サツ子			8/6					
	第4講	小児看護学	講師 大高恵美				8/7				
第5講	在宅看護学	准教授中村順子					8/7				
		准教授木下彩子					8/7				
日本赤十字秋田 短期大学		22高校生のための介護福祉入門	介護福祉学科	8/6	8/6	8/7	8/7	8/7			
			特任教授 三浦正樹	前期集中 ③10:30～12:00、①④13:00～14:30、②⑤14:45～16:15							
聖園学園短期大学	第1講	社会の理解と生活課題	特任教授 三浦正樹	8/6							
	第2講	介護福祉の概況 歴史と現状について	特任教授 三浦正樹		8/6						
	第3講	介護を必要とする人とその理解	教授 高橋美岐子			8/7					
	第4講	高齢者及び障害者の介護 認知症のある方の介護	講師 高橋謙一				8/7				
	第5講	(演習)介護技術の基礎的知識と実際	講師 藤沢緑子					8/7			
		23保育入門	保育科	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22
		教授 安藤節子	前期 水曜 17:30～19:00								
秋田職業能力開発 短期大学	第1講	子どもと遊び・発達	教授 安藤節子	6/3							
	第2講	体が動く・心も動く	教授 内藤裕子		6/10						
	第3講	紙で作ろう	准教授小笠原京子			6/17					
	第4講	音楽はリズム・メロディー・ハーモニ	教授 築地芳子				6/24				
	第5講	心を育てるお話と絵本	准教授寺田和子					7/1			
	第6講	保育の仕事ってどんなこと?	教授 国枝幸子						7/8		
	第7講	保育所・幼稚園の遊び	助教 猿田興子							7/15	
			助教 菊地 恵							7/15	
第8講	保育のしくみ	教授 小林建一								7/22	
秋田職業能力開発 短期大学		24ソフトウェア開発のしくみ	電子情報技術科	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14			
	大館	～ソフトウェアってどのようにしてつくるの?～	講師 徳田孝明	前期 火曜 17:30～19:00							
秋田職業能力開発 短期大学		25組込みシステム入門	電子情報技術科	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16			
	大館	～小型ロボットを動かしてみよう～	講師 渡邊 茂	前期 木曜 17:30～19:00							

## 平成21年度社会人講座開講提案科目一覧

No.	提案科目名	①	②	③	④	⑤	備考
1	仏教美術の図像学 ～シルクロードから日本へ～ 秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン学科 井上 豪 准教授	4/14 火 14:00	4/24 火 14:00	4/28 火 14:00	5/12 火 14:00	5/19 火 14:00	
2	キャラクター・デザイン入門 秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン学科 官能 右泰 准教授	5/13 水 18:30	5/27 水 18:30	6/10 水 18:30	6/24 水 18:30		
3	秋田の建築探訪 ～秋田市内の歴史的建築のみかた～ 秋田工業高等専門学校環境都市工学科 角 哲 助教	6/27 土 10:30					サイエンスプラザとして開講を検討中
4	オペラへの招待Ⅱ -名作で学ぶオペラの歴史と鑑賞法- 聖霊女子短期大学 佐藤 眞弓 教授	5/26 火 15:00	6/2 火 15:00	6/9 火 15:00	6/16 火 15:00	6/23 火 15:00	
5	楽しく学ぶ書道と文字文化 秋田大学教育文化学部 長沼 雅彦 教授						
6	どう違う？日本人と中国人 -相互誤解から相互理解を目指して- 国際教養大学 陳 風 准教授	5/30 土 14:00	6/6 土 14:00	6/13 土 14:00			
7	未来のキーワード「多文化共生」をまなぶ 国際教養大学 秋葉 文志 講師	6/14 日 14:00	6/28 日 14:00	7/12 日 14:00			
8	小学校英語指導者講座 ～これから英語を教える教員のために～ 秋田大学名誉教授・秋田県立大学名誉教授 三浦 順治 先生	6/11 木 18:30	6/18 木 18:30	6/25 木 18:30	7/2 木 18:30	7/9 木 18:30	
9	台湾・中国の企業統治の特徴と現状 国際教養大学 葉 聰明 助教	7/7 火 19:00	7/14 火 19:00	7/21 火 19:00			
10	現代の武力紛争の実態と戦争のルールについて 日本赤十字秋田短期大学看護学科 井上 忠男 教授						
11	生活習慣病の予防 日本赤十字秋田短期大学看護学科 宮堀 真澄教授・重川 敬三講師	7/25 土	8/8 土	8/22 土			
12	『論語』を読むⅡ 秋田大学教育文化学部 吉永 慎二郎 教授	9/5 土 13:30	9/12 土 13:30	9/19 土 13:30	9/26 土 13:30		
13	歌舞伎鑑賞入門 国際教養大学 勝又 美智雄 教授						
14	Varieties of English Language 国際教養大学 コーラ オラグボイエガ 准教授						
15	ロシアの文化 国際教養大学 アレキサンダー ドーリン 教授						
16	小宮先生と過ごすヨーロッパ文化史の夕べ 横浜国立大学教育人間科学部 小宮正安准教授						
17	クオリティ オブ ライフ で考える健康 秋田大学医学部保健学科 煙山晶子講師・石井良和教授・津軽谷恵助教	10/9 金 18:30	10/16 金 18:30	10/23 金 18:30			

平成21年度社会人講座開講提案科目一覧

No.	提案科目名	①	②	③	④	⑤	備考
18	声楽「言葉と音楽、歌の心」 秋田大学教育文化学部 爲我井 壽一 准教授						
19	子育て支援を支援する 聖園学園短期大学 安藤節子教授・内藤裕子准教授・猿田興子助教	12/20 日 10:30	12/20 日 12:40	12/20 日 14:20			
20	美術館の建築的楽しみ方 ～ヨーロッパ新美術館を旅する～ 秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科 込山 敦司 准教授						
21	旅行中国語講座 秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科 張 函 准教授						
22	初めての英語群読 ～マザーグース・詩を声で楽しもう～ 秋田県立大学総合科学教育研究センター 草薙 優加 准教授						
23	初めての群読：声によることばの表現 秋田県立大学総合科学教育研究センター 草薙 優加 准教授						
24	『徒然草』を読む 聖霊女子短期大学 後藤 恒允 教授						
25	資源と環境！未来に向かって仕事をアップグレード 秋田大学 工学資源学部 辻内裕講師・大川浩一助教 教育文化学部 高樋さち子准教授	7/2 木 19:00	7/9 木 19:00	7/16 木 19:00			
26	環境、資源、エネルギー入門 秋田大学工学資源学部 金児紘征 客員教授						
27	コンピュータスキル あなたのレベルは？ 秋田看護福祉大学 八重樫 裕幸 准教授						

平成21年度サイエンスプラザ開講提案科目一覧

No.	提案科目名	①	②	③	④	⑤	⑥	備考
1	サイコロジカル・カフェ ファーストシーズン 秋田大学教育文化学部 高田知恵子教授・森和彦教授・柴田健教授 中野良樹准教授・北島正人講師 清水貴裕講師	6/17 水	6/30 火	7/3 金	7/10 金	7/15 水	7/17 金	
2	食べる生物学 秋田大学教育文化学部 石井照久 准教授							
3	電子顕微鏡で小さな世界を見よう 秋田県立大学システム科学技術学部 電子情報システム学科 青山 隆 教授							
4	体験型参加型環境教育法 秋田県立大学システム科学技術学部 経営システム工学科 金澤 伸浩 准教授							
5	リスクしよう (Risk it!) 秋田県立大学システム科学技術学部 経営システム工学科 金澤 伸浩 准教授							
6	風の力を知的に体験、気体に胸膨らまそう！ 秋田大学工学資源学部 辻内 裕 講師							

## 大学コンソーシアムあきた平成21年度事業収支予算(案)

## 【収入】

(単位:円)

予算科目	20年度予算額	21年度予算額	差引(H21-H20)	備考
1 負担金	2,300,000	2,600,000	300,000	四年制@30万×6校、短大等@10万×8校
2 補助金	2,300,000	2,300,000	0	県補助(事業費1/2補助, 限度額230万)
3 聴講料	30,000	14,000	△16,000	@400×7回×5人
4 受講料	360,000	360,000	0	@400×3回×15人×20科目
5 雑収入	0	0	0	預金利息等
6 繰越金	610,000	82,000	△528,000	前年度繰越金
収入合計	5,600,000	5,356,000	△244,000	

## 【支出】

(単位:円)

予算科目	20年度予算額	21年度予算額	差引(H21-H20)	備考
1 運営費	543,000	602,000	59,000	
(1) 各種会議費	63,000	82,000	19,000	会議用・来客用茶代 @2,000×12ヶ月 全国研究交流フォーラム参加 @7,000×5名 講師用ミネラルウォーターエビアン @2,300×10箱
(2) 事務局運営費	480,000	520,000	40,000	消耗品類 @15,000×12ヶ月 複写費 @20,000×12ヶ月 事業報告書 @100×1,000部
2 事業費	5,057,000	4,754,000	△303,000	
(1) 募集等事務及び広報費	1,020,000	1,360,000	340,000	カラートナー類一式 @140,000×4式 郵送通信費 @25,000×12ヶ月 HP管理費 @28,000×12ヶ月 封筒・用紙類 @9,500×12ヶ月 新聞広告掲載料 @50,000×1回
(2) 単位互換授業運営費	300,000	300,000	0	シラバス複写作成(550頁・32部) @100,000×2期 広報資料作成 @50,000×2期
(3) 研修事業費	560,000	585,000	25,000	全国フォーラム旅費(函館市)@57,000×5名 職員研修事業特別企画講演会200,000 職員研修事業高大意見交換会100,000
(4) 連携公開講座運営費	300,000	300,000	0	講師謝金 @10,000×10人×2テーマ 資材費 @5,000×20回
(5) 高大連携授業運営費	1,494,000	709,000	△785,000	県内旅費交通費 @3,000×10回 募集資料印刷 @300,000×2期 資材費 @7,900×10回
(6) 社会人講座運営費	900,000	900,000	0	講師謝金 @10,000×3回×20科目 資材費 @15,000×20科目
(7) サイエンスプラザ運営費	225,000	240,000	15,000	講師謝金 @10,000×3回×4テーマ 資材費 @30,000×4テーマ
(8) 中大連携授業運営費	258,000	360,000	102,000	生徒応募型10回、出前授業型8回 講師謝金 @10,000×18回 資材費 @10,000×18回
支出合計	5,600,000	5,356,000	△244,000	

## 【差引】

収入合計 5,356,000円  
 支出合計 5,356,000円  
 差引 0円



大学コンソーシアムあきた構成機関・負担金一覧

(単位：円)

構成機関名	平成20年度	平成21年度	備 考
秋田大学	300,000	300,000	
秋田県立大学	300,000	300,000	
国際教養大学	300,000	300,000	
ノースアジア大学	300,000	300,000	
秋田看護福祉大学	300,000	300,000	
日本赤十字秋田看護大学	0	300,000	新規加盟 (平成21年4月開学)
秋田公立美術工芸短期大学	100,000	100,000	
秋田栄養短期大学	100,000	100,000	
聖霊女子短期大学	100,000	100,000	
日本赤十字秋田短期大学	100,000	100,000	
聖園学園短期大学	100,000	100,000	
秋田工業高等専門学校	100,000	100,000	
放送大学秋田学習センター	100,000	100,000	
秋田職業能力開発短期大学校	100,000	100,000	
計	2,300,000	2,600,000	

## 平成21年度大学コンソーシアムあきた(理事・運営委員会・教育研究部会・地域貢献部会委員)名簿

機関名・理事名	運営委員会	教育研究部会	地域貢献部会	連絡先
秋田大学 ◆学長 吉村 昇 (4A)◆	理事(教育・社会貢献担当)副学長 吉岡 尚文 社会貢献推進室長藤井和明	教育推進主管・教授 小川 信明 社会貢献係長三浦朝子	教育推進主管・教授 小川 信明 社会貢献係長三浦朝子	社会貢献推進室長藤井和明、社会貢献係長三浦朝子 TEL018-889-2270 FAX018-889-3194
秋田県立大学 学長 小林俊一 (4A)◆	理事(教育担当) 森 宏一 教育本部教務・学生チーム金子久美	理事(教育担当) 森 宏一 教育本部教務・学生チーム金子久美	地域連携・研究推進センター・教授 日向野 三雄 教育本部教務・学生チーム金子久美	教育本部教務・学生チームTEL018-872-1500FAX872-1670 本荘C教務・学生チームTEL0184-27-2021FAX0184-27-2180 大潟C教務・学生チームTEL0185-45-2027FAX0185-45-2377
国際教養大学 学長 中嶋嶺雄 (4A)◆	図書館長・教授 勝 又 美智雄 企画課スタッフ大倉祐佳	准教授 山本 尚史 教務課スタッフ上窪美和子	図書館長・教授 勝 又 美智雄 企画課スタッフ大倉祐佳	企画課スタッフ大倉祐佳TEL018-886-5904 FAX886-5910 教務課スタッフ上窪美和子TEL018-886-5938 FAX886-5910 学長室秘書鈴木和代TEL018-886-5922 FAX886-5910
ノースアジア大学 学長 小泉 健 (4A)◆	総合研究センター長 藤本 剛 大学係長 大島 剛	教養部長 福山 裕 大学係長 大島 剛	法学研究所長 道端 忠孝 大学係長 大島 剛	大学事務部教務課大学係長 大島 剛 TEL018-836-1335 FAX018-836-2485 総合研究センター 堤玉俊TEL018-836-6592FAX836-6530
秋田看護福祉大学 学長 佐々木英忠 ◆	福祉学科長・教授 柴田 博 事務部長 佐藤一史	看護学科長・教授 田中 禮子 事務部長 佐藤一史	福祉学科・准教授 高橋 和幸 事務部長 佐藤一史	事務部長 佐藤一史 TEL0186-45-1712 FAX0186-43-6711
日本赤十字秋田看護 大学学長 森美智子 (4A)◆	看護学部長 尾岸 恵三子 総務課企画係長若山伸幸	看護学部長 尾岸 恵三子 総務課企画係長若山伸幸	看護学部・教授 佐々木 理恵子 総務課企画係長若山伸幸	事務局総務課企画係長 若山伸幸 TEL018-829-3045 FAX018-829-3030
秋田公立美術工芸 短期大学学長 (4A)◆ 樋田豊次郎	学長補佐兼産業デザイン学科長 渡邊 有一 総務課主席主査 北嶋英樹	工芸美術学科・准教授 長 沢 桂 一 学生課主事 石井 中	大学開放センター所長・教授 五十嵐 潤 総務課主事 金 清祐	事務局総務課課長補佐森政則、主席主査北嶋英樹、主事金清祐 TEL018-888-8100 FAX018-888-8101 学生課TEL018-888-8105 FAX018-888-8101
秋田栄養短期大学 学長 小泉 健 ◆	短大部長・教授 鎌田 幸男 教務課係長 村岡孝伸	教授 廣川 忠男 教務課係長 村岡孝伸	教授 廣川 忠男 教務課係長 村岡孝伸	大学事務部教務課係長 村岡孝伸 TEL018-836-1357 FAX018-836-3374
聖霊女子短期大学 学長 平垣ヨシ子 ◆	副学長 佐藤 榮悦 学長秘書 三浦万里子	教務部長・教授 横溝 眞理 学長秘書 三浦万里子	副学長 佐藤 榮悦 学長秘書 三浦万里子	副学長 佐藤榮悦 TEL018-845-4111(代) FAX018-845-4222 学長秘書TEL018-845-4111(代) FAX018-845-4222
日本赤十字秋田短期 大学学長 森美智子 (4A)◆	看護学科長 尾岸 恵三子 総務課企画係長若山伸幸	看護学科長 尾岸 恵三子 総務課企画係長若山伸幸	看護学科・教授 佐々木 理恵子 総務課企画係長若山伸幸	事務局総務課企画係長 若山伸幸 TEL018-829-3045 FAX018-829-3030
聖園学園短期大学 学長 青木 光子 (4A)◆	学生課長・教授 安藤 節子 事務局 阿部純子	図書館長・教授 小林 建一 事務局 阿部純子	学生課長・教授 安藤 節子 事務局 阿部純子	事務局 阿部純子 TEL018-823-1920 FAX018-862-0789
秋田工業高等専門 学校校長 山田宗慶 (4A)◆	副校長教務主事・教授 対馬 雅己 総務課総務係長佐藤尚洋	教務主事補・准教授 恒松 良純 学生課課長補佐太田貞祐	地域共同功労センター長・教授 落合 雄二 企画室企画室長金谷栄光	総務課総務係長佐藤尚洋TEL018-847-6005FAX857-3191 学生課課長補佐太田貞祐TEL018-847-6017FAX847-0372 企画室企画室長金谷栄光TEL018-847-6106FAX857-3191
放送大学秋田学習 センター 所長 吉崎克明	所長 吉崎 克明 事務室長 岡村宗夫	所長 吉崎 克明 事務室長 岡村宗夫	所長 吉崎 克明 事務室長 岡村宗夫	事務室長 岡村宗夫 TEL018-831-1997 FAX018-837-4885
秋田職業能力開発 短期大学校 校長 木村陽一	能力開発部長 鳥瀉 与明 学務援助課 泉 正悟	講師 三浦 誠 学務援助課 泉 正悟	講師 佐竹 重則 学務援助課 泉 正悟	学務援助課 泉 正悟 TEL0186-42-5700 FAX0186-42-5719
(特別委員)秋田県 学術国際部長事務取扱 副知事 佐藤文一 (次長 佐々木昌良)	学術国際政策課長 伊藤 邦夫	学術国際政策課主幹 高橋 邦武	学術国際政策課主幹 高橋 邦武	学術国際政策課TEL018-860-1222FAX018-860-1225 カレッジプラザ 黒澤桂一・武田さやか TEL018-825-5455 FAX018-836-5388

【監事】

【監事】

【事務局】事務局局長  
次長藤井 和明(秋田大学社会貢献推進室長)  
三浦 朝子(秋田大学社会貢献推進室社会貢献係長)

(敬称略)

(備考)氏名欄の◆は理事長、運営委員長、  
部会長であることを示す。機関名の(4A)は  
プロジェクト「4A」連携校、◆は単位互換  
協定校。

## 大学コンソーシアムあきた規約

## 第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、大学コンソーシアムあきた（以下、「コンソーシアム」という。）という。

(目 的)

第2条 この会は、秋田県内の高等教育機関が連携・交流することにより、それぞれの教育研究機能の強化を図り、その成果を地域社会に還元することにより、本県の学術文化の振興、地域経済の発展並びに県民生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 この会は、次の事業を行う。

- (1) 高等教育機関間の連携・交流事業
- (2) 高等教育機関の地域貢献の推進事業
- (3) 教員間及び学生間の交流事業
- (4) その他この会の目的に必要な事業

(構成団体)

第4条 この会は、秋田県内に所在する高等教育機関で、この会の趣旨に賛同する機関で構成する。

## 第2章 会 計

(会計年度)

第5条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日までとする。

(事業費)

第6条 この会の運営に必要な経費は、事業に伴う収入及び構成機関が負担する負担金等を充てる。

## 第3章 役 員

(種別及び選任)

第7条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 理事長 1人
  - (2) 理事(理事長を含む) 構成機関の数
  - (3) 監事 2人
- 2 理事は構成機関の長をもって充てる。
  - 3 理事長は、理事の互選により定める。
  - 4 監事は理事会において選任する。

(職 務)

第8条 理事長は、この会を代表し、業務を統括する。

2 理事は、理事会を構成し、業務の執行を決定する。

3 監事は、この会の財産の状況及び理事の業務執行の状況を監査する。

(任 期)

第9条 役員の任期は2年とする。ただし、補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

3 役員は、辞任した場合又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

## 第4章 理事会

(構成)

第10条 理事会は、理事をもって構成する。

(機能)

第11条 理事会は、この会の運営に関する次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び予算、決算
- (2) 規約の制定及び変更
- (3) 役員を選出
- (4) その他運営に関する重要な事項

(招集)

第12条 理事会は、理事長が招集する。

(議長)

第13条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定足数)

第14条 理事会は、理事の2分の1以上の出席がなければ、開催することができない。

(議決)

第15条 理事会の議事は、出席理事の過半数の同意をもって決する。

## 第5章 運営委員会

(設置)

第16条 この会の事業等を企画立案し、運営するため、運営委員会を設置する。

(組織)

第17条 委員には、構成機関の長が推薦する委員をもって充てる。

- 2 委員長は、理事長が指名する。
- 3 委員の任期については、役員と同様に取り扱う。

(運営)

第18条 運営委員会は、理事長が招集する。

- 2 運営委員会の議長は、委員長がこれに当たる。

(業務)

第19条 運営委員会は、理事長の指示の下に、次の業務を行う。

- (1) 事業の企画及び運営
- (2) 予算、決算の調製
- (3) その他事業の実施に関すること

## 第6章 事務局

(事務局)

第20条 この会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局は当分の間、秋田大学に置く。

## 第7章 雑則

(委任規定)

第21条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

附則

(経過措置)

1 この会の設立当初の役員の任期は、第9条の規定にかかわらず、平成19年3月31日までとする。

(施行期日)

2 この規約は、平成17年3月29日に施行する。

## 運営委員会に設置している部会の所掌について

運営委員会に設置している部会の所掌等について以下により検討する。

### 1 現状

教育研究部会（改称前は「単位互換部会」、地域貢献部会の2部会を設置し、主な所掌を次のとおりとしてきている。

#### ○教育研究部会

単位互換協定の運営に関すること

職員研修・講演会に関すること

高校と大学・短期大学の連携推進のための合同意見交換に関すること

#### ○地域貢献部会

連携公開講座に関すること

高大連携授業に関すること

社会人講座に関すること

サイエンスプラザに関すること

中大連携授業に関すること

#### ○運営委員長と2部会長による打ち合わせ

運営委員会からの付託事項と事業推進方向の検討に関すること

### 2 課題

教育系事業を教育研究部会、地域貢献系事業を地域貢献部会へと、その事業の性格や内容により所掌部会を振り分けていた。

しかし、これまでは実施計画に関する協議が主な検討事項となっており、事業実施後の状況を評価・検討し、課題の明確化を図り改善の具体化を検討する組織的機能はやや不足気味の感があった。

### 3 提案

事業の性格や内容による2部会への所掌振り分けから、事業推進を検討する部会及び実施後の評価や改善検討を行う部会へと部会設置の切り口を変更する。

また、運営委員会からの付託事項を確認し、事業推進方向を具体化するためのコアメンバーによる会議を設け、事業実施のスピード化を図る。

#### ○活動推進部会（各構成機関1名で構成）

事業実施方法の検討や講師となる教員の推薦など、事業推進全般に関することを所掌。

#### ○企画開発部会（各構成機関1名で構成）

事業実施後にアンケート結果や事業実施報告などから、その事業の課題を明確にし、次の事業企画へと反映させる点検・評価に関することを所掌。

#### ○運営部会（運営委員長、各部会長、4年制大学の代表者、短大等の代表者で構成）

運営委員会からの付託事項と事業推進方向の検討に関することを所掌。